

平成22年第1回定例会
政策総務常任委員会説明資料
目次

◎所管事項

- 1 「2010年(平成22年)版県政報告書(案)」について
【政策部抜粋版】・・・・・・・・・・(別冊1)
- 2 平成22年度「一万人アンケート」結果について(速報)・・・・・・・・・・1
- 3 鳥羽伊良湖航路について・・・・・・・・・・13
- 4 JR名松線について・・・・・・・・・・25
- 5 水力発電事業の民間譲渡について・・・・・・・・・・35
- 6 新エネルギーに関するこれまでの取組状況について・・・・・・・・・・41
- 7 IT調達・運用管理の取組について・・・・・・・・・・47
- 8 住民基本台帳ネットワークシステムの条例による利用について・・・・・・・・51
- 9 三重県過疎地域自立促進方針(案)の概要について・・・・・・・・・・53
- 10 宮川流域ルネッサンス事業の今後の取組方針(案)について・・・・・・・・57
- 11 熊野古道を活かした地域活性化について・・・・・・・・・・61
- 12 「美し国おこし・三重」の取組について・・・・・・・・・・63
- 13 審議会等の審議状況について(報告)・・・・・・・・・・67

○別冊資料

- (別冊1) 2010年(平成22年)版 県政報告書(案)「政策部抜粋版」
- (別冊2) 三重県情報システムについての別冊資料
- (別冊3) 三重県過疎地域自立促進方針(案)
- (別冊4) 宮川流域ルネッサンス事業の今後の取組方針について(案)

平成22年6月21日

政策部

2 平成22年度「一万人アンケート」結果について（速報）

1 アンケートの実施目的

一万人アンケートは、県政運営に活用するため、「みえ行政経営体系」の「広聴広報・情報マネジメント」の一環として、県民の皆さんの県行政の各分野に対する満足意識、重要意識等を把握しているものです。

平成10年度から実施しており、本年度が11回目の調査となります。

2 アンケートの実施状況

(1) 調査地域・対象

三重県全域、県内居住の20歳以上の男女

(2) 標本数・抽出方法

標本数 10,000人

抽出法 無作為抽出法（選挙人名簿を使用）

(3) 調査時期

平成22年3月

(4) 調査項目の構成

① 三重県の住みやすさ、地域への愛着について

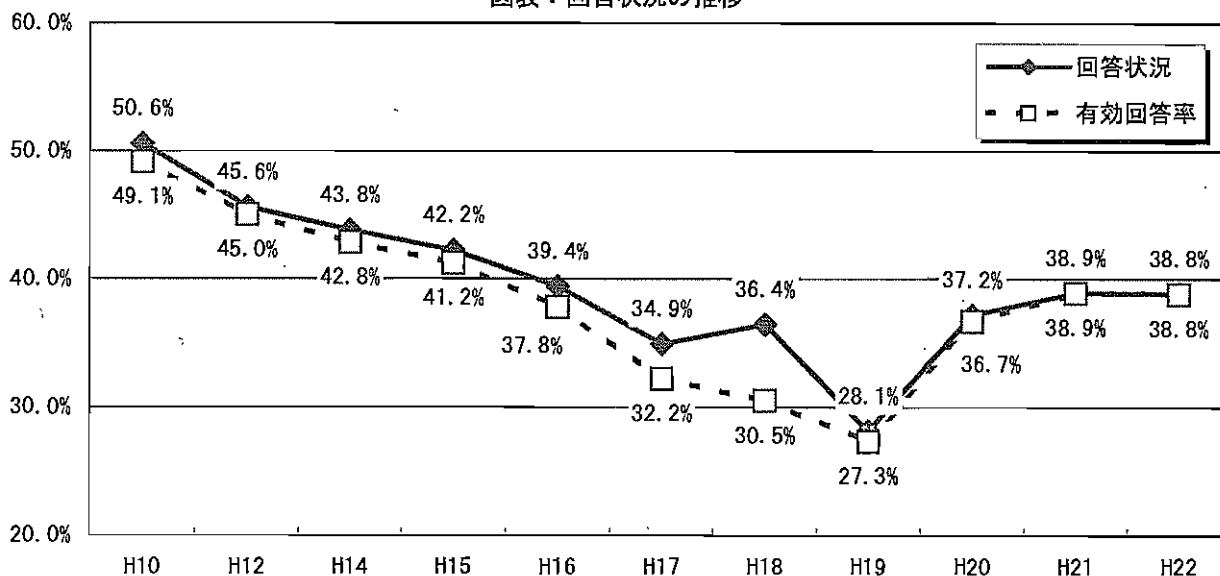
② 県行政の各分野における重要意識、満足意識（各44項目、5段階調査）等

(5) 回答状況 3,883人（回答率38.8%）

うち無効回答（白紙） 3人

有効回答数 3,880人（有効回答率38.8%）

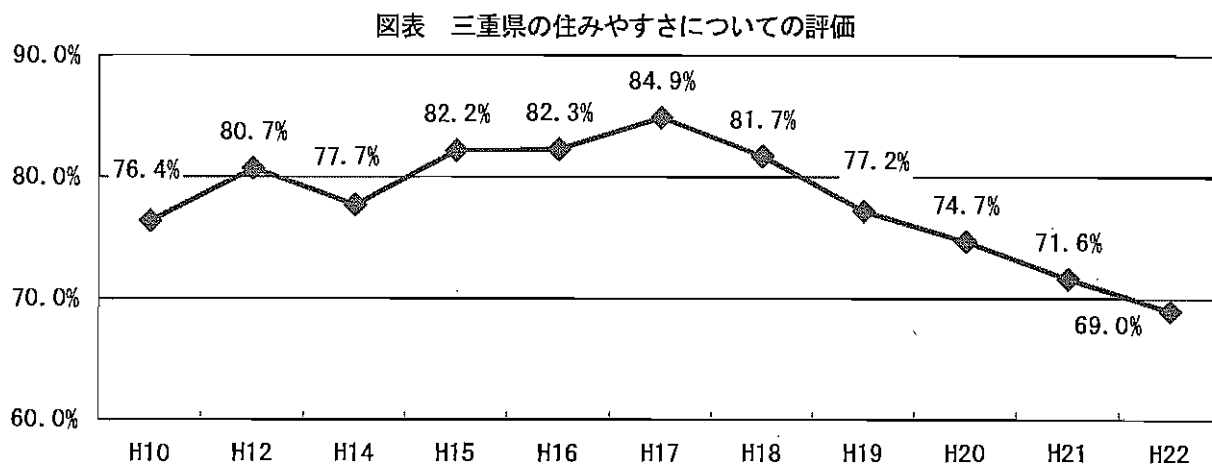
図表：回答状況の推移



3 住みやすさ、地域への愛着

(1) 三重県の住みやすさについての評価（3ページ参照）

県全体で、三重県は住みやすいと答えた方の割合は、69.0%となり、前回に比べ2.6ポイント減少しました。



(「とても住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と答えた方の割合を合計したもの)

(2) 地域への愛着についての評価

前回から、地域への愛着についての質問項目を設けています（5段階調査）。

地域への愛着を持っていると答えた方の割合は、68.3%で、前回に比べ1.1ポイント減少しました（前回69.4%）。

表1 三重県の住みやすさについての評価 (「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の計)

	全体 (人) ※	三重県の住みやすさについての評価						「住みやすい」と回答があった割合											
		とても 住み やすい	ど ち ら か と い え ば 住 み や す い	ど ち ら か と い え ば 住 み に く い	住 み に く い	ど ち ら と も い え な い	無 回 答	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15	H14	H12	H10	
単位：％ (全体を除く)																			
合計	3,880	18.0	51.0	14.3	2.0	10.7	4.0	69.0	71.6	74.7	77.2	81.7	84.9	82.3	82.2	77.7	80.7	76.4	
性別																			
男性	1,774	17.9	51.7	13.4	2.8	9.8	4.5	69.6	71.6	76.3	76.7	79.9	84.6	82.3	82.4	76.8	79.8	74.8	
女性	2,068	17.7	50.9	14.9	1.5	11.6	3.4	68.6	71.4	73.8	77.7	83.4	85.1	82.3	81.9	78.4	81.7	77.9	
年齢																			
20歳代	267	18.9	52.8	13.0	3.1	10.3	2.0	71.7	66.2	72.1	79.2	81.2	83.2	80.7	79.0	80.0	78.7	74.6	
30歳代	534	18.1	49.4	17.6	1.7	11.1	2.1	67.5	74.9	74.3	74.2	81.1	84.4	79.0	78.5	75.8	78.2	75.4	
40歳代	726	17.7	48.2	17.4	3.5	10.5	2.6	65.9	69.9	71.1	73.5	82.1	82.5	79.2	76.5	77.9	80.6	79.0	
50歳代	864	14.0	53.9	15.1	1.9	11.9	3.2	67.9	70.1	75.7	77.8	80.8	84.2	83.6	84.5	78.3	81.2	80.0	
60歳代	982	19.0	51.5	12.3	1.5	11.2	4.4	70.5	72.3	77.2	79.2	82.2	87.4	83.7	85.9	76.9	79.4	73.2	
70歳以上	472	21.2	52.2	7.5	0.9	7.7	10.5	73.4	73.9	77.1	79.3	83.8	87.5	85.6	86.3	77.8	85.5	72.9	
居住地																			
北勢	787	21.1	53.7	10.3	1.3	9.7	3.9	74.8	74.1	78.2	79.8	82.6	84.4	80.1	84.0	72.9	79.0	76.2	
伊賀	810	9.4	47.5	23.6	2.7	13.1	3.7	56.9	62.1	64.9	66.9	81.7	85.0	86.2	81.6	78.2	80.7	76.3	
中南勢	814	18.2	51.7	13.4	2.2	10.2	4.3	69.9	74.2	75.3	80.7	82.3	87.9	82.5	87.1	81.4	84.9	79.8	
伊勢志摩	748	15.9	45.1	19.3	2.9	12.8	4.0	61.0	68.7	74.5	74.4	82.3	87.9	82.5	87.1	81.4	84.9	79.8	
東紀州	721	11.2	45.4	23.6	4.6	12.2	3.1	56.6	58.2	60.6	62.9	66.8	81.5	86.2	87.3	84.3	86.7	79.5	
住居外																			
ない	1,758	21.3	50.8	12.2	1.5	9.9	4.3	72.1	73.0	76.9	79.5	85.2	88.4	86.2	86.5	81.0	84.4	80.3	
ある(5年未満)	924	15.2	51.4	13.8	2.9	12.2	4.4	66.6	72.6	74.9	77.1	82.5	85.4	84.7	82.2	80.0	79.8	77.6	
ある(5年以上)	1,132	13.4	51.9	18.5	2.4	11.2	2.5	65.3	67.6	72.0	73.8	75.5	77.6	74.4	75.1	70.5	74.2	68.4	
従事職業の産業・業種																			
農林漁業	201	17.2	49.8	12.4	5.7	8.1	6.8	67.0	73.2	68.8	77.6	77.1	85.1	86.4	87.2	76.4	84.6	77.4	
製造業	531	14.9	56.7	13.4	2.1	8.7	4.3	71.6	69.3	75.4	75.9	84.8	82.8	83.8	82.6	77.3	79.6	76.4	
商業・サービス業	760	17.8	50.3	14.1	2.5	12.2	3.1	68.1	73.0	77.0	76.3	79.5	85.3	82.1	83.0	78.0	80.6	77.0	
建設・不動産業	181	23.1	46.0	15.5	1.4	9.1	4.7	69.1	75.1	78.3	70.3	78.9	87.0	82.6	83.2	76.5	79.6	76.0	
運輸・通信業	134	15.0	49.5	16.3	2.0	12.7	4.7	64.5	73.1	72.1	86.8	82.4	83.7	—	—	—	—	—	
医療・福祉関係	284	16.3	47.0	17.6	3.7	12.9	2.5	63.3	66.9	70.7	77.9	79.9	86.1	79.0	80.5	82.1	81.6	80.3	
教育・保育関係	194	14.8	58.0	13.4	1.7	9.4	2.9	72.8	81.7	82.1	79.1	87.9	80.7	81.4	88.1	78.2	85.3	77.5	
公務員	172	20.0	55.1	14.5	2.1	6.7	1.4	75.1	72.1	81.2	82.9	85.8	89.3	88.3	89.2	—	—	—	
無職	1,047	17.6	50.4	13.8	1.2	12.1	4.9	68.0	69.9	72.6	77.5	82.7	85.5	81.0	78.9	76.3	80.0	73.8	
その他	241	21.2	52.3	12.9	1.4	9.4	2.8	73.5	73.5	75.5	77.8	75.8	84.8	77.3	78.5	80.6	80.3	76.0	

※ 全体数は有効回答者数。

4 満足意識、不満足意識、重要意識

(1) 県行政の各分野における満足意識、不満足意識、重要意識の上位10項目
(6～8ページ参照)

満足意識については、前回8位だった「14.食の安全」が3位に、前回15位だった「24.川や海の水質」が9位となっています。

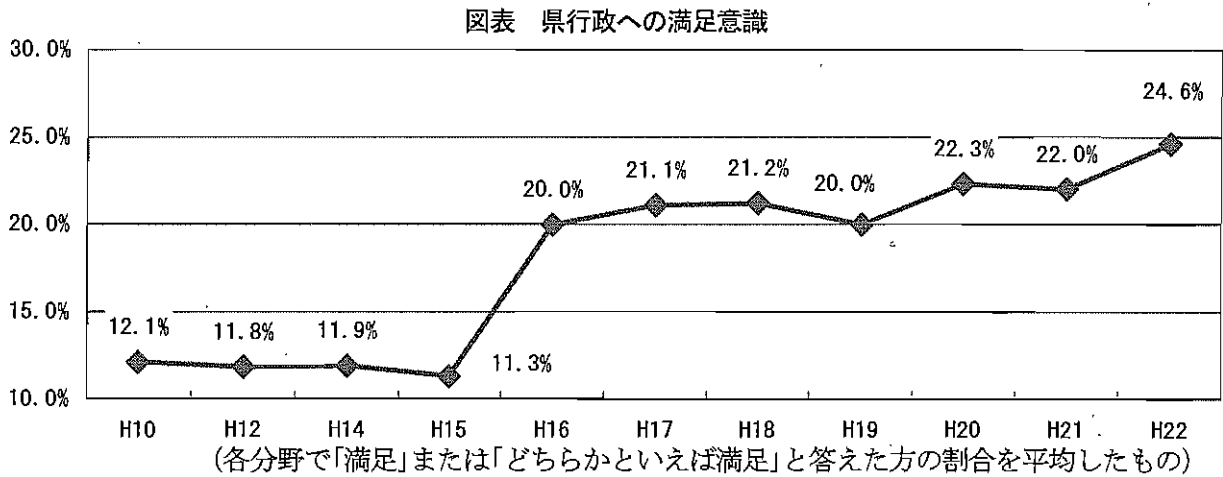
不満足意識については、前回15位だった「32.職業能力開発」が6位となっています。
重要意識については、特に大きな順位の変動はありません。

(上位10位の項目)

順位	満足意識 (昨年度順位)	不満足意識 (昨年度順位)	重要意識 (昨年度順位)
1	44. 飲料水の供給 (1)	30. 地域商工業 (1)	18. 医療体制 (1)
2	23. きれいな空気 (3)	31. 雇用 (2)	23. きれいな空気 (4)
3	14. 食の安全 (8)	38. 公共交通機関 (3)	13. 防犯 (3)
4	20. 自然環境との共生 (2)	18. 医療体制 (5)	44. 飲料水の供給 (2)
5	02. 生涯学習 (5)	12. 交通安全 (4)	24. 川や海の水質 (5)
6	37. 道路の整備 (4)	32. 職業能力開発 (15)	14. 食の安全 (6)
7	18. 医療体制 (9)	40. 快適なまちづくり (8)	31. 雇用 (8)
8	35. 情報ネットワーク (7)	26. 農林水産業の振興 (9)	04. 青少年の健全育成 (11)
9	24. 川や海の水質 (15)	04. 青少年の健全育成 (6)	12. 交通安全 (7)
10	36. 高速交通網 (6)	13. 防犯 (10)	11. 災害対策 (9)

(2) 県行政の各分野における満足意識の平均値（6ページ参照）

県行政全般に対する満足意識の平均は、24.6%となり、前回に比べ2.6ポイント増加しました。



(3) 県行政の各分野における不満意識の平均値（7ページ参照）

県行政全般に対する不満意識の平均は、24.6%となり、前回に比べ5.0ポイント減少しました。

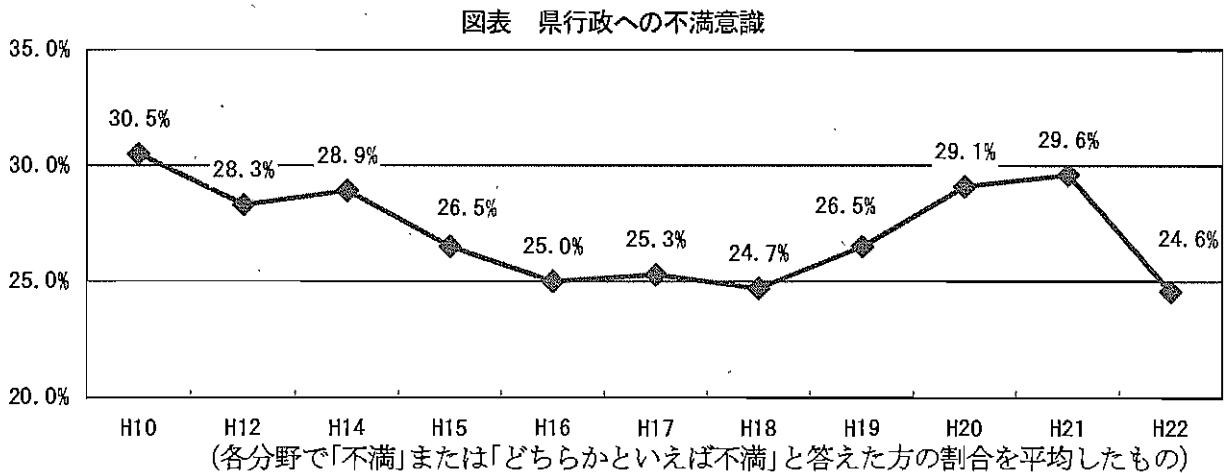


表2 分野別満足意識一覧表(「満足」「どちらかといえば満足」の計)

(単位：%)、()内は順位

	満足	どちらかといえ	ない	どちらかといえ	不満足	わからない	無回答													
								H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15	H14	H12	H10		
44. 飲料水の供給	24.4	42.8	16.8	4.6	4.1	3.9	3.2	67.2 (01)	64.0 (01)	62.6 (01)	57.1 (01)	55.1 (01)	55.0 (01)	51.1 (01)	32.9 (01)	30.6 (01)	33.0 (01)	34.9 (01)		
23. きれいな空気	16.9	37.1	23.6	8.3	7.4	4.2	2.5	54.0 (02)	39.9 (03)	36.9 (07)	32.2 (08)	35.2 (07)	37.3 (04)	34.5 (05)	10.2 (25)	8.6 (30)	7.7 (30)	6.8 (31)		
14. 食の安全	11.6	40.7	29.0	7.1	4.2	4.3	3.0	52.3 (03)	35.6 (08)	30.4 (09)	36.0 (03)	36.9 (05)	38.0 (03)	34.1 (06)	12.1 (19)	11.4 (22)	12.9 (19)	14.2 (16)		
20. 自然環境との共生	13.9	36.3	29.5	7.5	4.7	5.2	2.9	50.2 (04)	47.0 (02)	45.2 (02)	35.5 (04)	42.2 (02)	44.8 (02)	40.5 (02)	11.5 (21)	14.0 (14)	13.6 (15)	13.4 (18)		
02. 生涯学習	6.2	32.9	32.7	13.5	7.2	4.9	2.6	33.1 (05)	38.0 (05)	38.5 (05)	29.9 (02)	38.1 (03)	36.9 (05)	34.7 (04)	15.6 (08)	17.7 (08)	17.1 (08)	15.8 (12)		
37. 道路の整備	6.8	30.6	29.5	14.2	12.7	2.6	3.8	37.4 (06)	39.2 (04)	39.5 (04)	33.7 (06)	36.0 (06)	34.2 (08)	29.2 (08)	17.8 (06)	19.5 (05)	17.6 (06)	18.0 (06)		
18. 医療体制	9.9	26.9	21.6	16.9	20.4	1.7	2.5	36.8 (07)	31.5 (09)	33.7 (08)	32.8 (07)	34.4 (08)	36.0 (06)	35.1 (03)	9.5 (28)	11.5 (21)	12.7 (21)	12.3 (23)		
35. 情報ネットワーク	7.7	28.3	38.2	6.6	4.0	11.5	3.8	36.0 (08)	36.2 (07)	37.0 (06)	31.4 (09)	33.8 (09)	31.2 (09)	28.2 (10)	24.6 (02)	21.6 (04)	15.6 (11)	13.7 (17)		
24. 川や海の水質	7.2	26.7	29.2	17.0	11.1	6.2	2.5	33.9 (09)	24.0 (15)	21.7 (18)	17.8 (25)	20.0 (20)	22.2 (17)	19.9 (20)	9.7 (27)	8.2 (31)	7.4 (31)	6.9 (30)		
36. 高速交通網	7.0	26.3	30.8	14.0	13.3	5.0	3.6	33.3 (10)	36.4 (06)	41.2 (03)	35.5 (04)	37.8 (04)	35.9 (07)	27.6 (11)	10.8 (23)	12.9 (18)	11.2 (25)	12.1 (24)		
08. 歴史・文化遺産	5.3	26.4	40.5	10.1	3.7	11.0	3.0	31.7 (11)	29.5 (10)	30.3 (10)	27.2 (11)	28.0 (11)	28.5 (12)	29.1 (09)	23.6 (03)	26.5 (02)	27.7 (02)	31.5 (02)		
01. 人権尊重	4.8	26.6	41.6	11.3	5.2	7.8	2.6	31.4 (12)	29.3 (11)	29.3 (11)	27.8 (10)	29.9 (10)	30.9 (10)	31.4 (07)	13.7 (13)	17.6 (09)	17.1 (08)	17.8 (07)		
13. 防犯	5.0	24.7	34.8	18.6	11.1	3.0	2.8	29.7 (13)	23.4 (18)	25.0 (15)	19.9 (20)	19.4 (22)	18.8 (23)	16.8 (27)	8.7 (30)	9.6 (27)	11.5 (23)	13.3 (20)		
16. 保健予防体制	4.7	24.7	40.2	11.4	5.4	10.4	3.3	29.4 (14)	26.8 (12)	26.8 (13)	24.7 (12)	27.2 (12)	28.7 (11)	26.6 (12)	12.0 (20)	15.3 (12)	13.5 (16)	15.7 (13)		
12. 交通安全	4.0	24.1	29.9	21.2	16.0	2.1	2.6	28.1 (15)	23.2 (19)	23.8 (17)	22.8 (15)	23.5 (15)	21.6 (18)	21.8 (18)	17.5 (07)	17.4 (10)	18.3 (04)	18.1 (05)		
09. スポーツ・レクリエーション	4.6	23.1	34.4	17.8	9.3	8.0	2.8	27.7 (16)	25.3 (14)	25.8 (14)	24.1 (13)	25.3 (14)	27.8 (13)	26.4 (13)	21.3 (04)	23.2 (03)	21.4 (03)	24.3 (03)		
17. 子育て環境	4.5	23.1	31.5	14.6	12.8	10.5	3.1	27.6 (17)	20.5 (22)	20.6 (23)	15.8 (27)	19.4 (22)	19.8 (21)	22.6 (16)	11.1 (22)	12.4 (20)	12.3 (22)	13.4 (18)		
22. ごみの減量	4.3	23.1	40.1	14.4	8.6	6.7	2.8	27.4 (18)	23.9 (16)	20.3 (25)	22.5 (16)	23.5 (15)	25.2 (14)	23.4 (15)	20.1 (05)	17.3 (11)	14.5 (13)	10.5 (26)		
38. 公共交通機関	6.3	20.4	22.2	19.3	24.8	3.1	4.0	26.7 (19)	25.5 (13)	27.0 (12)	23.2 (14)	25.8 (13)	25.2 (14)	22.2 (17)	14.9 (10)	17.8 (07)	16.7 (10)	17.6 (08)		
11. 災害対策	4.4	21.3	36.1	13.4	8.8	13.3	2.6	25.7 (20)	21.5 (20)	20.8 (22)	20.7 (17)	18.4 (26)	16.9 (26)	18.9 (22)	12.9 (16)	12.8 (19)	17.4 (07)	16.5 (10)		
28. 観光	3.9	21.5	39.4	14.1	8.6	9.7	2.8	25.4 (21)	23.7 (17)	24.6 (16)	19.4 (21)	22.8 (18)	21.2 (19)	20.8 (19)	10.4 (24)	10.2 (26)	14.3 (14)	15.0 (15)		
10. 地域での防災の取組	4.9	19.8	36.4	17.3	9.7	9.1	2.8	24.7 (22)	19.4 (27)	18.0 (28)	20.0 (19)	19.1 (24)	15.2 (28)	17.1 (25)	15.2 (09)	13.7 (15)	17.9 (05)	18.4 (04)		
07. 文化・芸術	3.2	19.9	38.5	16.8	9.2	9.4	2.9	23.1 (23)	20.7 (21)	21.6 (19)	17.9 (24)	17.9 (27)	18.6 (24)	18.8 (23)	12.7 (17)	13.3 (17)	12.9 (19)	15.5 (14)		
19. 福祉サービス	4.6	18.2	31.4	14.3	10.9	18.0	2.5	22.8 (24)	20.4 (23)	21.6 (19)	20.7 (17)	23.1 (17)	24.8 (16)	24.6 (14)	14.5 (12)	15.0 (13)	11.5 (23)	13.1 (21)		
03. 学校教育	3.6	18.8	37.3	16.5	9.6	11.5	2.8	22.4 (25)	20.2 (24)	19.0 (27)	14.8 (29)	16.6 (30)	15.9 (27)	16.7 (28)	13.5 (14)	13.6 (16)	13.1 (18)	16.1 (11)		
06. 市民活動	3.0	19.0	48.1	9.5	4.5	13.3	2.6	22.0 (26)	19.7 (26)	21.0 (21)	19.0 (22)	19.5 (21)	19.2 (22)	17.9 (24)	5.7 (39)	5.7 (36)	6.1 (36)	6.3 (34)		
40. 快適なまちづくり	2.9	18.4	35.3	19.3	14.0	6.6	3.4	21.3 (27)	18.6 (28)	20.5 (24)	17.8 (25)	20.4 (19)	17.6 (25)	16.9 (26)	12.2 (18)	11.3 (24)	10.8 (26)	11.0 (25)		
04. 青少年の健全育成	2.8	17.4	38.9	18.9	10.9	8.3	2.8	20.2 (28)	15.4 (30)	15.4 (32)	12.1 (31)	12.0 (33)	12.4 (33)	12.2 (32)	7.6 (32)	9.3 (28)	7.8 (29)	9.2 (28)		
15. 高齢者、障がい者の社会参加	3.3	15.5	42.9	11.7	6.5	17.3	2.8	18.8 (29)	19.9 (25)	20.3 (25)	18.1 (23)	19.0 (25)	20.0 (20)	19.5 (21)	7.3 (34)	6.4 (34)	6.6 (33)	6.8 (31)		
21. 希少な生物	3.8	14.4	43.5	6.4	4.8	24.3	2.9	18.2 (30)	15.7 (29)	15.8 (31)	10.3 (34)	13.6 (31)	14.7 (29)	13.8 (30)	6.7 (37)	9.3 (28)	9.0 (28)	7.8 (29)		
25. 地球温暖化防止	3.5	14.6	40.9	13.5	10.3	14.8	2.5	18.1 (31)	13.4 (33)	11.2 (35)	10.7 (33)	12.4 (32)	12.7 (32)	12.9 (31)	—	—	—	—		
05. 高等教育機関	1.6	12.8	39.1	14.2	9.3	20.1	3.0	14.4 (32)	13.8 (31)	14.7 (33)	11.9 (32)	10.8 (35)	11.3 (34)	12.0 (33)	10.0 (26)	11.4 (22)	13.5 (16)	12.9 (22)		
39. 港の整備	2.8	9.0	40.1	7.6	6.6	28.6	5.3	11.8 (33)	13.8 (31)	16.3 (30)	14.7 (30)	16.8 (29)	14.1 (31)	10.0 (35)	7.4 (33)	7.9 (32)	10.1 (27)	9.4 (27)		
41. 農山漁村づくり	2.2	9.0	39.2	15.0	10.8	20.2	3.7	11.2 (34)	8.7 (38)	10.4 (37)	8.3 (38)	9.6 (37)	9.9 (36)	8.4 (37)	7.3 (34)	6.3 (35)	6.2 (34)	5.1 (39)		
27. 産業振興	1.5	9.1	38.7	15.2	13.0	19.4	3.1	10.6 (35)	12.7 (34)	17.0 (29)	15.2 (28)	16.9 (28)	14.7 (29)	14.3 (29)	8.2 (31)	7.0 (33)	5.6 (38)	6.0 (35)		
43. エネルギー	1.3	8.3	39.6	17.0	11.9	18.1	3.7	9.6 (36)	10.0 (35)	9.0 (39)	10.2 (35)	11.4 (34)	10.7 (35)	10.3 (34)	6.9 (36)	4.3 (42)	5.3 (39)	3.3 (44)		
31. 雇用	1.8	7.4	26.6	25.4	27.6	8.1	3.2	9.2 (37)	7.7 (40)	12.9 (34)	9.9 (36)	9.0 (38)	8.1 (38)	7.5 (41)	4.2 (44)	4.4 (41)	5.7 (37)	5.5 (38)		
29. 技術開発	1.2	7.9	42.5	10.7	6.6	28.2	2.9	9.1 (38)	8.9 (37)	10.5 (36)	9.8 (37)	10.1 (36)	9.1 (37)	8.2 (38)	4.7 (40)	4.9 (38)	4.5 (42)	4.7 (41)		
33. 国際化	1.0	7.5	47.8	10.4	5.9	23.7	3.7	8.5 (39)	9.1 (36)	9.0 (39)	7.1 (40)	7.6 (41)	7.4 (41)	7.9 (39)	4.4 (42)	4.3 (42)	4.5 (42)	4.6 (42)		
26. 農林水産業の振興	1.1	6.9	36.6	15.4	14.5	22.7	2.7	8.0 (40)	7.0 (41)	6.0 (43)	6.5 (41)	7.7 (40)	7.5 (40)	7.5 (41)	5.9 (38)	5.6 (37)	6.2 (34)	6.4 (33)		
34. 広域交流・連携	1.2	6.5	43.8	8.6	4.9	31.0	3.9	7.7 (41)	8.5 (39)	8.6 (41)	7.3 (39)	9.0 (38)	7.7 (39)	8.6 (36)	2.9 (47)	3.5 (44)	3.5 (44)	4.1 (43)		
32. 職業能力開発	1.1	5.9	37.3	19.1	15.0	17.8	3.8	7.0 (42)	6.6 (42)	9.1 (38)	6.2 (42)	7.4 (42)	7.1 (42)	7.8 (40)	4.1 (45)	4.7 (39)	4.7 (41)	5.0 (40)		
42. 過疎地域等の振興	1.1	5.3	39.5	13.6	10.8	25.9	3.9	6.4 (43)	6.5 (43)	6.1 (42)	5.0 (43)	5.6 (44)	5.7 (43)	5.4 (44)	3.4 (46)	3.1 (45)	3.2 (45)	3.1 (45)		
30. 地域商工業	0.9	5.3	26.6	24.7	33.3	6.6	2.5	6.2 (44)	5.2 (44)	5.5 (44)	4.9 (44)	6.1 (43)	5.2 (44)	6.2 (43)	4.3 (43)	4.5 (40)	4.9 (40)	6.0 (35)		
平均								24.6	22.0	22.3	20.0	21.2	21.1	20.0	11.3	11.9	11.8	12.1		

9

表3 分野別不満足意識一覧表(「不満」「どちらかといえば不満」の計)

(単位：%)，()内は順位

	満足	どちらかといえ	ない	どちらかといえ	不満	わからない	無回答												
								H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15	H14	H12	H10	
30. 地域商工業	0.9	5.3	26.6	24.7	33.3	6.6	2.5	58.0 (01)	62.2 (01)	60.0 (01)	53.0 (01)	49.3 (01)	51.0 (01)	49.1 (02)	42.8 (02)	43.0 (05)	39.0 (09)	40.1 (10)	
31. 雇用	1.8	7.4	26.6	25.4	27.6	8.1	3.2	53.0 (02)	56.4 (02)	48.3 (02)	47.5 (02)	46.4 (02)	51.0 (01)	53.6 (01)	47.8 (01)	47.2 (01)	43.1 (04)	47.9 (03)	
38. 公共交通機関	6.3	20.4	22.2	19.3	24.8	3.1	4.0	44.1 (03)	46.9 (03)	45.2 (03)	41.7 (03)	39.9 (05)	39.0 (06)	41.4 (05)	36.6 (08)	36.8 (10)	36.0 (13)	40.0 (11)	
18. 医療体制	9.7	26.9	21.6	16.9	20.4	1.7	2.5	37.3 (04)	45.5 (05)	41.9 (06)	35.7 (10)	32.4 (09)	31.7 (11)	31.1 (11)	41.2 (03)	43.1 (06)	40.2 (07)	44.4 (07)	
12. 交通安全	4.0	24.1	29.9	21.2	16.0	2.1	2.6	37.2 (05)	45.9 (04)	44.4 (04)	41.7 (03)	41.5 (03)	41.3 (04)	42.4 (04)	30.6 (15)	33.0 (17)	29.7 (17)	32.6 (18)	
32. 職業能力開発	1.1	5.9	37.3	19.1	15.0	17.8	3.8	34.1 (06)	34.1 (15)	31.3 (18)	26.7 (21)	25.3 (19)	26.5 (20)	27.1 (17)	25.7 (26)	28.9 (22)	27.0 (23)	30.4 (21)	
40. 快適なまちづくり	2.9	18.4	35.3	19.3	14.0	6.6	3.4	33.3 (07)	39.5 (08)	37.4 (13)	33.3 (12)	33.7 (08)	33.9 (10)	34.1 (08)	37.6 (05)	44.3 (03)	48.4 (03)	47.3 (04)	
26. 農林水産業の振興	1.1	6.9	36.6	15.4	14.5	22.7	2.7	29.9 (08)	39.3 (09)	38.2 (12)	28.7 (16)	24.2 (21)	25.1 (22)	23.0 (23)	21.9 (32)	24.2 (32)	22.8 (32)	25.5 (30)	
04. 青少年の健全育成	2.8	17.4	38.9	18.9	10.9	8.3	2.8	29.8 (09)	41.2 (06)	41.2 (08)	41.3 (06)	39.7 (06)	41.2 (05)	39.3 (06)	36.7 (07)	39.8 (07)	43.0 (05)	38.3 (13)	
13. 防犯	5.0	24.7	34.8	18.6	11.1	3.0	2.8	29.7 (10)	38.9 (10)	39.7 (09)	37.9 (08)	40.8 (04)	41.7 (03)	42.8 (03)	39.1 (04)	37.4 (08)	32.3 (16)	30.4 (21)	
43. エネルギー	1.3	8.3	39.6	17.0	11.9	18.1	3.7	28.9 (11)	38.2 (12)	39.5 (10)	30.5 (14)	25.6 (18)	27.2 (18)	24.2 (19)	30.3 (17)	35.6 (14)	37.4 (11)	40.3 (09)	
27. 産業振興	1.5	9.1	38.7	15.2	13.0	19.4	3.1	28.2 (12)	28.6 (21)	24.9 (27)	22.6 (27)	19.8 (27)	20.9 (26)	22.3 (24)	21.7 (33)	26.0 (31)	24.5 (30)	24.8 (33)	
24. 川や海の水質	7.2	26.7	29.2	17.0	11.1	6.2	2.5	28.1 (13)	40.2 (07)	41.4 (07)	38.6 (07)	36.7 (07)	36.4 (08)	38.0 (07)	37.3 (06)	46.1 (02)	46.4 (02)	50.1 (02)	
17. 子育て環境	4.5	23.1	31.5	14.6	12.8	10.5	3.1	27.4 (14)	38.9 (10)	38.8 (11)	34.6 (11)	30.2 (13)	29.8 (14)	24.3 (18)	24.4 (30)	26.5 (29)	24.2 (31)	25.7 (29)	
36. 高速交通網	7.0	26.3	30.8	14.0	13.3	5.0	3.6	27.3 (15)	26.5 (26)	23.9 (28)	23.7 (26)	23.6 (23)	25.6 (21)	30.3 (12)	28.9 (19)	30.9 (20)	34.0 (15)	35.9 (14)	
09. スポーツ・レクリエーション	4.6	23.1	34.4	17.8	9.3	8.0	2.8	27.1 (16)	31.2 (18)	31.3 (18)	28.2 (18)	28.5 (14)	27.7 (16)	27.8 (16)	26.8 (23)	27.5 (26)	27.4 (22)	29.6 (24)	
10. 地域での防災の取組	4.9	19.8	36.4	17.3	9.7	9.1	2.8	27.0 (17)	34.8 (14)	35.2 (15)	32.7 (13)	31.6 (11)	38.1 (07)	32.0 (09)	32.5 (13)	31.2 (19)	25.6 (24)	29.5 (25)	
37. 道路の整備	6.8	30.6	29.5	14.2	12.7	2.6	3.8	26.9 (18)	25.6 (28)	25.8 (26)	26.9 (20)	27.6 (15)	30.3 (12)	31.3 (10)	36.4 (09)	36.8 (10)	40.4 (06)	44.7 (06)	
03. 学校教育	3.6	18.8	37.3	16.5	9.6	11.5	2.8	26.1 (19)	34.0 (16)	33.9 (16)	36.5 (09)	32.1 (10)	34.5 (09)	28.9 (15)	36.1 (10)	34.8 (15)	38.8 (10)	35.3 (15)	
07. 文化・芸術	3.2	19.9	38.5	16.8	9.2	9.4	2.9	26.0 (20)	26.4 (27)	27.6 (24)	24.9 (24)	25.9 (17)	26.6 (19)	24.0 (20)	23.3 (31)	26.5 (29)	24.8 (28)	27.4 (26)	
41. 農山漁村づくり	2.2	9.0	39.2	15.0	10.8	20.2	3.7	25.8 (21)	32.0 (17)	29.0 (22)	24.3 (25)	22.3 (25)	22.6 (24)	21.1 (28)	31.7 (14)	36.8 (10)	36.8 (12)	42.8 (08)	
19. 福祉サービス	4.6	18.2	31.4	14.3	10.9	18.0	2.5	25.2 (22)	29.6 (20)	28.9 (23)	27.1 (19)	22.2 (26)	21.3 (25)	21.5 (26)	26.0 (24)	27.9 (24)	28.5 (19)	33.1 (16)	
42. 過疎地域等の振興	1.1	5.3	39.5	13.6	10.8	25.9	3.9	24.4 (23)	28.5 (23)	30.0 (20)	25.1 (23)	22.5 (24)	20.9 (26)	19.0 (30)	18.9 (37)	19.9 (36)	20.0 (37)	23.3 (35)	
25. 地球温暖化防止	3.5	14.6	40.9	13.5	10.3	14.8	2.5	23.8 (24)	37.8 (13)	43.1 (05)	41.4 (05)	30.6 (12)	29.9 (13)	29.1 (14)	—	—	—	—	
05. 高等教育機関	1.6	12.8	39.1	14.2	9.3	20.1	3.0	23.5 (25)	24.8 (29)	23.1 (30)	18.6 (33)	18.1 (31)	18.3 (31)	18.4 (31)	25.0 (28)	26.6 (28)	25.4 (26)	29.7 (23)	
22. ごみの減量	4.3	23.1	40.1	14.4	8.6	6.7	2.8	23.0 (26)	30.8 (19)	33.2 (17)	29.6 (15)	27.3 (16)	27.4 (17)	29.3 (13)	35.3 (11)	41.5 (06)	46.5 (01)	52.2 (01)	
28. 観光	3.9	21.5	39.4	14.1	8.6	9.7	2.8	22.7 (27)	24.6 (30)	23.8 (28)	22.5 (28)	19.8 (27)	20.9 (26)	21.6 (25)	29.6 (18)	29.6 (21)	25.3 (27)	25.3 (31)	
11. 災害対策	4.4	21.3	36.1	13.4	8.8	13.3	2.6	22.2 (28)	28.1 (24)	26.5 (25)	25.5 (22)	24.6 (20)	29.0 (15)	23.7 (21)	27.9 (20)	27.5 (26)	21.2 (34)	26.7 (27)	
02. 生涯学習	6.2	32.9	32.7	13.5	7.2	4.9	2.6	20.7 (29)	21.0 (32)	22.1 (31)	17.2 (34)	19.1 (29)	19.8 (29)	20.9 (29)	19.5 (36)	20.6 (34)	21.7 (33)	25.1 (32)	
15. 高齢者、障がい者の社会参加	3.3	15.5	42.9	11.7	6.5	17.3	2.8	18.2 (30)	22.9 (31)	21.5 (32)	19.9 (31)	16.4 (33)	17.5 (32)	16.3 (34)	34.7 (12)	35.9 (13)	34.7 (14)	39.5 (12)	
29. 技術開発	1.2	7.9	42.5	10.7	6.6	28.2	2.9	17.3 (31)	18.5 (35)	17.2 (35)	15.7 (36)	15.0 (37)	14.9 (35)	15.8 (35)	12.2 (44)	12.4 (42)	12.9 (42)	13.3 (42)	
16. 保健予防体制	4.7	24.7	40.2	11.4	5.4	10.4	3.3	16.8 (32)	19.3 (34)	16.0 (38)	16.0 (35)	12.7 (40)	12.4 (41)	13.2 (39)	21.3 (35)	19.3 (38)	17.6 (39)	18.1 (39)	
01. 人権尊重	4.8	26.6	41.6	11.3	5.2	7.8	2.6	16.5 (33)	21.0 (32)	20.7 (33)	20.5 (29)	17.9 (32)	17.1 (33)	17.1 (32)	18.0 (38)	15.9 (40)	15.9 (41)	16.7 (40)	
33. 国際化	1.0	7.5	47.8	10.4	5.9	23.7	3.7	16.3 (34)	18.0 (36)	19.9 (34)	15.5 (37)	15.7 (35)	15.9 (34)	15.7 (36)	14.2 (42)	20.4 (35)	17.6 (39)	20.2 (38)	
23. きれいな空気	16.9	37.1	23.6	8.3	7.4	4.2	2.5	15.7 (35)	26.8 (25)	29.3 (21)	28.3 (17)	24.2 (21)	23.5 (23)	23.2 (22)	30.5 (16)	37.3 (09)	39.5 (08)	45.0 (05)	
39. 港の整備	2.8	9.0	40.1	7.6	6.6	28.6	5.3	14.2 (36)	14.8 (40)	12.1 (43)	10.2 (44)	12.4 (41)	13.3 (39)	11.4 (43)	11.9 (45)	10.9 (43)	11.3 (44)	12.0 (44)	
06. 市民活動	3.0	19.0	48.1	9.5	4.5	13.3	2.6	14.0 (37)	15.5 (39)	14.3 (39)	15.0 (39)	15.5 (36)	14.6 (38)	15.7 (36)	24.5 (29)	28.6 (23)	28.4 (20)	31.6 (19)	
08. 歴史・文化遺産	5.3	26.4	40.5	10.1	3.7	11.0	3.0	13.8 (38)	15.8 (38)	14.3 (39)	12.8 (41)	12.2 (42)	12.0 (43)	12.3 (42)	13.1 (43)	10.9 (43)	11.0 (45)	11.5 (45)	
34. 広域交流・連携	1.2	6.5	43.8	8.6	4.9	31.0	3.9	13.5 (39)	14.8 (40)	16.2 (37)	12.6 (42)	11.7 (43)	13.2 (40)	12.4 (41)	10.9 (46)	10.8 (45)	12.4 (43)	12.2 (43)	
20. 自然環境との共生	13.9	36.3	29.5	7.5	4.7	5.2	2.9	12.2 (40)	17.6 (37)	16.6 (36)	19.3 (32)	16.1 (34)	14.7 (37)	15.1 (38)	25.5 (27)	27.7 (25)	28.7 (18)	32.8 (17)	
14. 食の安全	11.6	40.7	29.0	7.1	4.2	4.3	3.0	11.3 (41)	28.6 (21)	36.3 (14)	20.3 (30)	18.2 (30)	18.7 (30)	21.2 (27)	25.8 (25)	33.6 (16)	20.5 (35)	20.7 (37)	
21. 希少な生物	3.8	14.4	43.5	6.4	4.8	24.3	2.9	11.2 (42)	13.2 (42)	13.8 (41)	15.2 (38)	12.8 (39)	12.2 (42)	12.5 (40)	15.3 (40)	15.0 (41)	18.0 (38)	16.6 (41)	
35. 情報ネットワーク	7.7	28.3	38.2	6.6	4.0	11.5	3.8	10.6 (43)	11.5 (44)	11.3 (44)	12.5 (43)	11.3 (44)	10.8 (44)	11.0 (44)	14.9 (41)	16.4 (39)	20.4 (36)	21.1 (36)	
44. 飲料水の供給	24.4	42.8	16.8	4.6	4.1	3.9	3.2	8.7 (44)	12.7 (43)	13.4 (42)	14.2 (40)	14.8 (38)	14.8 (36)	16.4 (33)	27.3 (21)	31.5 (18)	27.5 (21)	30.5 (20)	
平均								24.6	29.6	29.1	26.5	24.7	25.3	25.0	26.5	28.9	28.3	30.5	

表4 分野別重要意識一覽表(「重要」「どちらかといえば重要」の計)

(単位: %), ()内は順位

	重要	どちらかといえば重要	どちらかともいえない	どちらかともいえない	重要でない	わからない	無回答	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15	H14	H12	H10
18. 医療体制	81.9	13.6	2.0	0.3	0.1	0.3	1.9	95.5 (01)	92.6 (01)	97.8 (01)	94.6 (03)	92.6 (08)	93.6 (02)	92.6 (02)	87.9 (09)	90.1 (05)	88.1 (04)	89.0 (05)
23. きれいな空気	73.9	20.5	2.7	0.3	0.1	0.5	1.9	94.4 (02)	95.7 (04)	94.9 (05)	93.8 (05)	91.6 (10)	92.6 (04)	91.2 (06)	85.5 (13)	87.1 (09)	86.7 (07)	89.1 (04)
13. 防犯	79.8	14.5	3.0	0.2	0.3	0.4	1.8	94.3 (03)	96.0 (03)	96.1 (03)	95.1 (01)	95.7 (01)	93.7 (01)	93.8 (01)	91.2 (04)	88.9 (06)	86.5 (08)	85.9 (09)
44. 飲料水の供給	80.2	13.6	2.5	0.2	0.1	0.7	2.7	93.8 (04)	97.5 (02)	96.9 (02)	94.7 (02)	95.0 (02)	93.4 (03)	92.1 (03)	93.9 (01)	93.6 (01)	92.3 (01)	94.0 (01)
24. 川や海の水質	69.6	24.1	3.5	0.2	0.0	0.6	2.0	93.7 (05)	95.5 (05)	95.0 (04)	93.7 (06)	91.6 (10)	92.4 (06)	91.9 (04)	89.6 (07)	90.5 (03)	90.0 (03)	90.9 (03)
14. 食の安全	74.8	18.5	3.6	0.4	0.1	0.6	2.0	93.3 (06)	95.2 (06)	94.5 (06)	92.6 (11)	93.6 (04)	91.0 (10)	90.9 (08)	86.0 (12)	84.5 (12)	82.1 (14)	79.1 (17)
31. 雇用	72.7	19.6	3.8	0.3	0.2	1.0	2.4	92.3 (07)	94.1 (08)	93.2 (10)	91.2 (13)	88.4 (14)	89.2 (13)	88.6 (11)	87.1 (10)	85.4 (11)	83.6 (12)	85.4 (11)
04. 青少年の健全育成	74.6	17.5	4.3	0.3	0.1	1.3	2.0	92.1 (08)	93.7 (11)	94.2 (07)	92.9 (09)	93.6 (04)	91.3 (09)	90.3 (10)	86.6 (11)	86.3 (10)	86.8 (06)	85.0 (12)
12. 交通安全	70.7	21.4	5.0	0.5	0.2	0.5	1.7	92.1 (08)	94.6 (07)	93.6 (08)	93.5 (07)	93.1 (06)	92.5 (05)	91.7 (05)	90.0 (06)	88.4 (07)	85.6 (09)	88.2 (07)
11. 災害対策	73.9	17.1	4.7	0.7	0.3	1.5	1.9	91.0 (10)	93.9 (09)	93.2 (10)	92.7 (10)	93.0 (07)	91.9 (07)	90.5 (09)	91.5 (03)	88.1 (08)	85.3 (10)	86.8 (08)
19. 福祉サービス	63.5	27.0	4.8	0.4	0.2	2.0	2.0	90.5 (11)	93.2 (13)	91.8 (16)	90.3 (16)	87.8 (16)	87.6 (17)	87.5 (15)	84.2 (14)	84.5 (12)	82.3 (13)	85.9 (09)
03. 学校教育	73.0	17.4	4.6	0.4	0.1	2.6	1.9	90.4 (12)	93.0 (14)	93.5 (09)	93.3 (08)	92.3 (09)	90.3 (11)	88.4 (13)	88.2 (08)	83.5 (14)	84.3 (11)	83.4 (13)
10. 地域での防災の取組	69.9	20.0	5.9	0.5	0.2	1.5	2.0	89.9 (13)	93.9 (09)	93.1 (12)	94.0 (04)	93.9 (03)	91.4 (08)	91.0 (07)	93.6 (02)	90.3 (04)	87.7 (05)	88.9 (06)
17. 子育て環境	69.3	20.1	5.3	0.4	0.2	2.3	2.4	89.4 (14)	93.6 (12)	92.2 (13)	90.5 (15)	88.0 (15)	87.4 (18)	85.9 (18)	75.4 (21)	76.5 (19)	73.7 (20)	74.2 (22)
16. 保健予防体制	61.2	27.5	7.2	0.4	0.4	1.1	2.2	88.7 (15)	91.7 (17)	90.9 (17)	88.7 (18)	87.8 (16)	88.0 (16)	87.2 (16)	82.4 (16)	78.2 (16)	76.5 (18)	77.8 (19)
01. 人権尊重	64.1	24.3	6.4	1.1	1.2	1.3	1.6	88.4 (16)	92.8 (15)	91.9 (15)	90.9 (14)	89.0 (12)	88.2 (14)	88.5 (12)	68.0 (25)	56.2 (36)	54.5 (36)	55.0 (36)
25. 地球温暖化防止	62.4	25.2	6.4	0.8	1.3	2.0	1.9	87.6 (17)	92.0 (16)	92.0 (14)	92.4 (12)	88.6 (13)	89.7 (12)	87.8 (14)	—	—	—	—
38. 公共交通機関	48.8	36.9	8.1	1.6	0.6	0.7	3.3	85.7 (18)	86.7 (19)	86.3 (20)	82.4 (22)	83.0 (22)	82.5 (21)	81.6 (21)	67.5 (27)	66.3 (27)	66.9 (26)	70.1 (24)
22. ごみの減量	47.1	37.4	10.6	1.3	0.6	1.0	2.0	84.5 (19)	87.7 (18)	87.7 (18)	89.3 (17)	86.2 (18)	88.1 (15)	86.8 (17)	90.3 (05)	91.0 (02)	91.4 (02)	92.7 (02)
20. 自然環境との共生	46.4	37.9	10.0	1.5	0.7	1.3	2.2	84.3 (20)	85.1 (24)	83.9 (23)	81.6 (24)	82.5 (23)	83.1 (20)	82.8 (19)	78.0 (19)	78.1 (17)	77.6 (17)	80.0 (14)
40. 快適なまちづくり	45.6	38.1	10.3	1.3	0.5	1.4	2.8	83.7 (21)	85.3 (23)	84.6 (22)	82.8 (19)	84.6 (19)	83.9 (19)	82.1 (20)	78.1 (18)	78.7 (15)	77.7 (16)	79.6 (15)
30. 地域商工業	49.0	34.6	10.8	0.9	0.4	2.1	2.0	83.6 (22)	85.4 (21)	82.7 (25)	81.7 (23)	79.1 (26)	79.5 (26)	78.9 (26)	76.1 (20)	73.1 (21)	68.4 (24)	69.0 (26)
02. 生涯学習	43.3	39.0	11.2	2.1	1.0	1.7	1.8	82.3 (23)	85.4 (21)	85.3 (21)	82.6 (21)	84.2 (20)	82.4 (22)	81.4 (22)	66.5 (29)	64.6 (29)	61.8 (30)	65.3 (29)
37. 道路の整備	43.8	37.6	11.4	2.9	0.9	0.5	2.9	81.4 (24)	77.7 (29)	78.3 (28)	77.5 (26)	80.4 (25)	80.6 (24)	79.1 (25)	67.7 (26)	67.5 (25)	69.8 (23)	74.8 (20)
15. 高齢者、障がい者の社会参加	43.8	37.0	13.1	1.0	0.9	2.1	2.0	80.8 (25)	83.8 (25)	83.7 (24)	81.4 (25)	80.8 (24)	80.0 (25)	80.8 (23)	75.0 (22)	74.0 (20)	73.9 (19)	77.9 (18)
28. 観光	45.0	34.9	13.9	1.8	0.9	1.6	2.0	79.9 (26)	78.8 (28)	77.1 (29)	75.0 (28)	72.8 (33)	73.1 (30)	73.3 (28)	62.3 (32)	62.1 (31)	57.0 (34)	54.1 (37)
32. 職業能力開発	41.4	37.7	12.7	1.5	0.4	3.1	3.0	79.1 (27)	81.2 (27)	79.5 (27)	74.8 (29)	78.1 (27)	76.4 (27)	76.8 (27)	66.8 (28)	67.2 (26)	64.9 (27)	66.5 (28)
26. 農林水産業の振興	43.7	34.5	12.9	1.1	0.6	5.1	2.1	78.2 (28)	83.0 (26)	80.1 (26)	76.9 (27)	74.4 (29)	75.6 (28)	72.8 (29)	59.8 (35)	61.7 (33)	60.8 (32)	64.2 (30)
43. エネルギー	43.9	33.9	13.3	1.5	0.7	3.7	2.9	77.8 (29)	86.2 (20)	86.8 (19)	82.8 (19)	83.9 (21)	82.3 (23)	79.9 (24)	79.6 (17)	77.7 (18)	78.7 (15)	79.4 (16)
27. 産業振興	42.9	32.9	15.0	1.6	0.8	4.3	2.5	75.8 (30)	77.2 (30)	75.6 (31)	74.5 (30)	72.7 (34)	72.6 (31)	72.6 (31)	56.0 (37)	57.2 (35)	55.4 (35)	53.6 (38)
09. 高等教育機関	40.8	33.3	14.3	2.0	0.8	6.6	2.3	74.1 (31)	77.1 (31)	75.8 (30)	72.8 (32)	74.2 (30)	72.6 (31)	72.3 (32)	61.4 (34)	61.0 (34)	58.5 (33)	63.0 (31)
29. 技術開発	35.4	37.5	15.6	2.0	0.8	6.4	2.2	72.9 (32)	74.9 (34)	72.1 (35)	72.9 (31)	68.9 (39)	69.2 (36)	69.5 (35)	45.1 (45)	43.7 (43)	42.0 (43)	40.7 (43)
08. 歴史・文化遺産	30.3	42.1	18.0	2.9	1.1	3.4	2.2	72.4 (33)	74.0 (35)	73.9 (32)	71.8 (33)	73.3 (32)	71.7 (34)	70.9 (34)	73.0 (23)	71.3 (22)	70.9 (21)	73.3 (23)
36. 高速交通網	36.9	35.3	16.1	5.1	2.7	1.2	2.8	72.2 (34)	70.8 (37)	70.8 (37)	70.3 (35)	73.9 (31)	72.5 (33)	71.6 (33)	45.6 (43)	48.1 (41)	49.6 (41)	49.8 (40)
35. 情報ネットワーク	33.1	38.2	19.0	3.1	1.3	2.3	3.0	71.3 (35)	70.4 (38)	70.5 (38)	69.7 (37)	71.5 (35)	68.5 (37)	68.4 (36)	53.8 (38)	55.5 (37)	53.8 (37)	48.3 (41)
09. スポーツ・レクリエーション	28.6	42.6	19.3	3.0	1.4	3.0	2.0	71.2 (36)	76.5 (32)	73.0 (34)	71.7 (34)	74.5 (28)	73.2 (28)	72.8 (29)	63.8 (31)	65.4 (28)	63.4 (29)	67.2 (27)
41. 農山漁村づくり	35.9	35.2	17.9	1.8	0.8	5.5	2.9	71.1 (37)	75.4 (33)	73.1 (35)	66.5 (40)	69.9 (37)	67.7 (39)	66.1 (39)	69.9 (24)	70.8 (23)	70.6 (22)	74.3 (21)
34. 広域交流・連携	31.9	36.4	18.6	2.6	0.8	6.6	3.2	68.3 (38)	73.5 (36)	72.1 (33)	70.0 (36)	71.5 (35)	71.2 (35)	68.3 (37)	38.2 (47)	39.7 (44)	38.9 (44)	39.0 (44)
07. 文化・芸術	25.1	42.0	21.0	4.1	2.2	3.5	2.0	67.1 (39)	66.5 (42)	66.9 (41)	62.0 (41)	64.9 (41)	65.2 (42)	62.7 (42)	51.7 (40)	53.6 (39)	51.5 (40)	55.7 (35)
21. 希少な生物	32.1	33.9	20.1	4.0	1.2	6.1	2.6	66.0 (40)	69.4 (40)	66.8 (42)	67.7 (38)	68.6 (40)	68.5 (37)	67.9 (38)	58.8 (36)	61.8 (32)	61.8 (30)	61.7 (32)
06. 市民活動	27.8	37.3	23.8	3.7	1.7	3.6	2.1	65.1 (41)	69.6 (39)	67.4 (40)	66.7 (39)	69.8 (38)	67.6 (40)	65.6 (40)	52.0 (39)	53.0 (40)	53.4 (38)	57.3 (34)
42. 過疎地域等の振興	30.4	33.7	20.5	2.6	1.4	8.2	3.2	64.1 (42)	69.4 (40)	69.2 (39)	62.0 (41)	63.0 (43)	61.2 (43)	59.4 (43)	45.7 (42)	44.9 (42)	45.7 (42)	48.1 (42)
33. 国際化	23.6	35.4	26.2	5.0	2.8	4.1	2.9	59.0 (43)	61.5 (43)	64.1 (43)	60.3 (43)	63.6 (42)	65.4 (41)	63.0 (41)	49.8 (41)	54.8 (38)	51.9 (39)	50.8 (39)
09. 港の整備	20.2	26.3	27.9	6.1	3.9	11.1	4.6	46.5 (44)	48.1 (44)	49.9 (44)	51.6 (44)	56.8 (44)	54.6 (44)	52.3 (44)	39.3 (46)	35.5 (45)	36.9 (45)	37.6 (45)
平均								80.8	83.3	82.5	80.8	81.0	80.3	79.3	70.4	70.3	69.1	70.2

5 県行政の重要度と満足度

(1) 重要度と満足度

県行政の各分野における重要意識と満足意識の全体傾向を把握するため、選択肢に得点をつけ回答者数で割り平均化した値を、重要度、満足度としています。

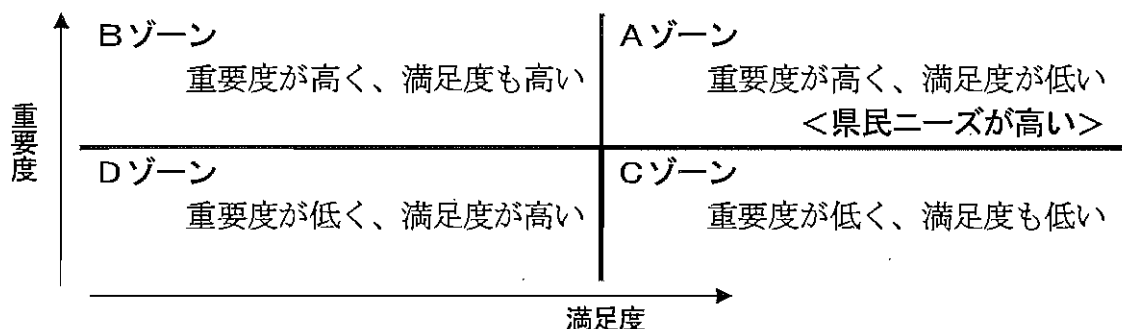
(重要(満足) + 2、どちらかといえば重要(満足) + 1、どちらともいえない 0、どちらかといえば重要でない(不満) - 1、重要でない(不満) - 2)

(2) 各分野における重要度と満足度の相関関係

重要度と満足度の相関関係をグラフに表したものが、「重要度と満足度の散布図」です(今回の調査: 10ページ参照 前回の調査: 11ページ参照)。

この図は、重要度を縦軸に、満足度を横軸にとり、それぞれの平均値で十文字に境界線を引いたもので、上に行くほど重要度が高く、右に行くほど満足度が低くなっており、県民ニーズの観点から4つのグループにゾーン分けしています。

(重要度の県平均値: 1.34 (前回1.37) 満足度の県平均値: -0.07 (前回-0.18))



(3) 県民ニーズが高いゾーン

今回の調査で、県民ニーズの高いAゾーンに入った項目は11項目でした。

(10ページ参照)

「31. 雇用」「04. 青少年の健全育成」「12. 交通安全」「30. 地域商工業」
「18. 医療体制」「25. 地球温暖化防止」「03. 学校教育」「19. 福祉サービス」
「38. 公共交通機関」「17. 子育て環境」「10. 地域での防災の取組」

また、今回の調査で、新たにAゾーンへ移行した項目は次の2項目です。

(12ページ参照)

○ 重要度が高くなった項目 「30. 地域商工業」「38. 公共交通機関」

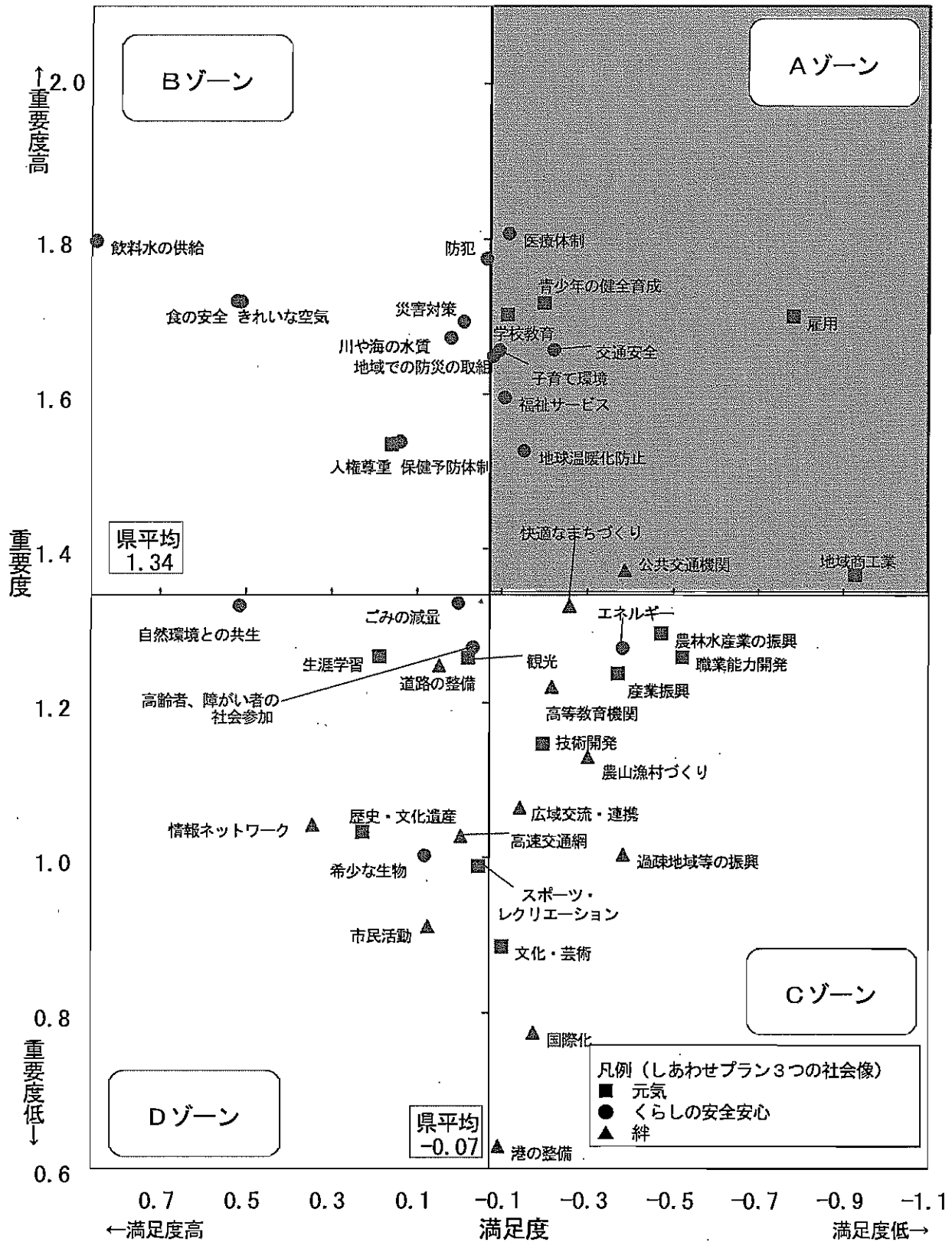
なお、今回の調査で、Aゾーンから移行した項目は次の3項目です。

(12ページ参照)

○ 満足度が高くなった項目 「13. 防犯」「24. 川や海の水質」
○ 重要度が低くなった項目 「43. エネルギー」

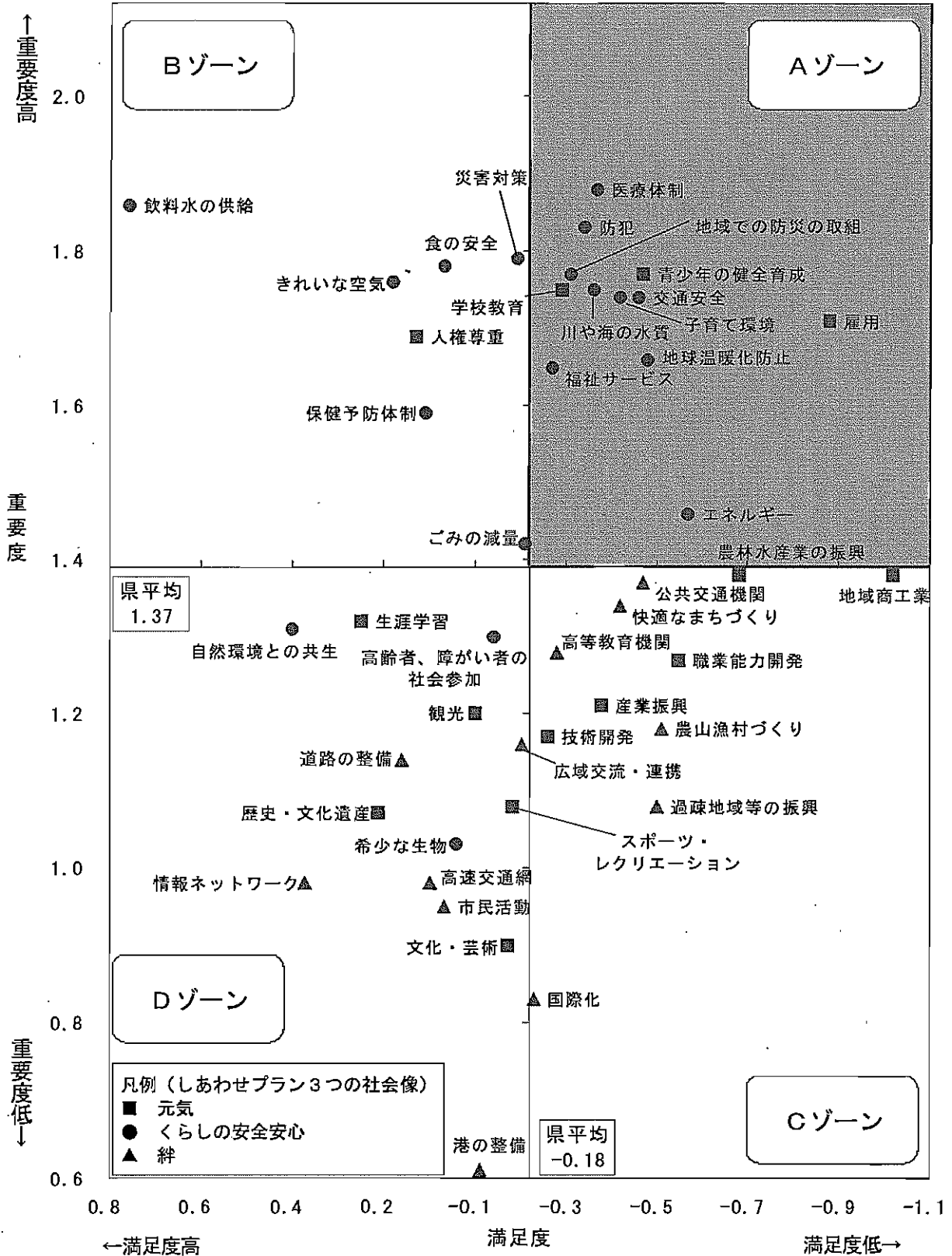
各分野の重要度と満足度（平成22年）

図表 重要度と満足度の関係（平成22年度）



各分野の重要度と満足度（平成21年度）

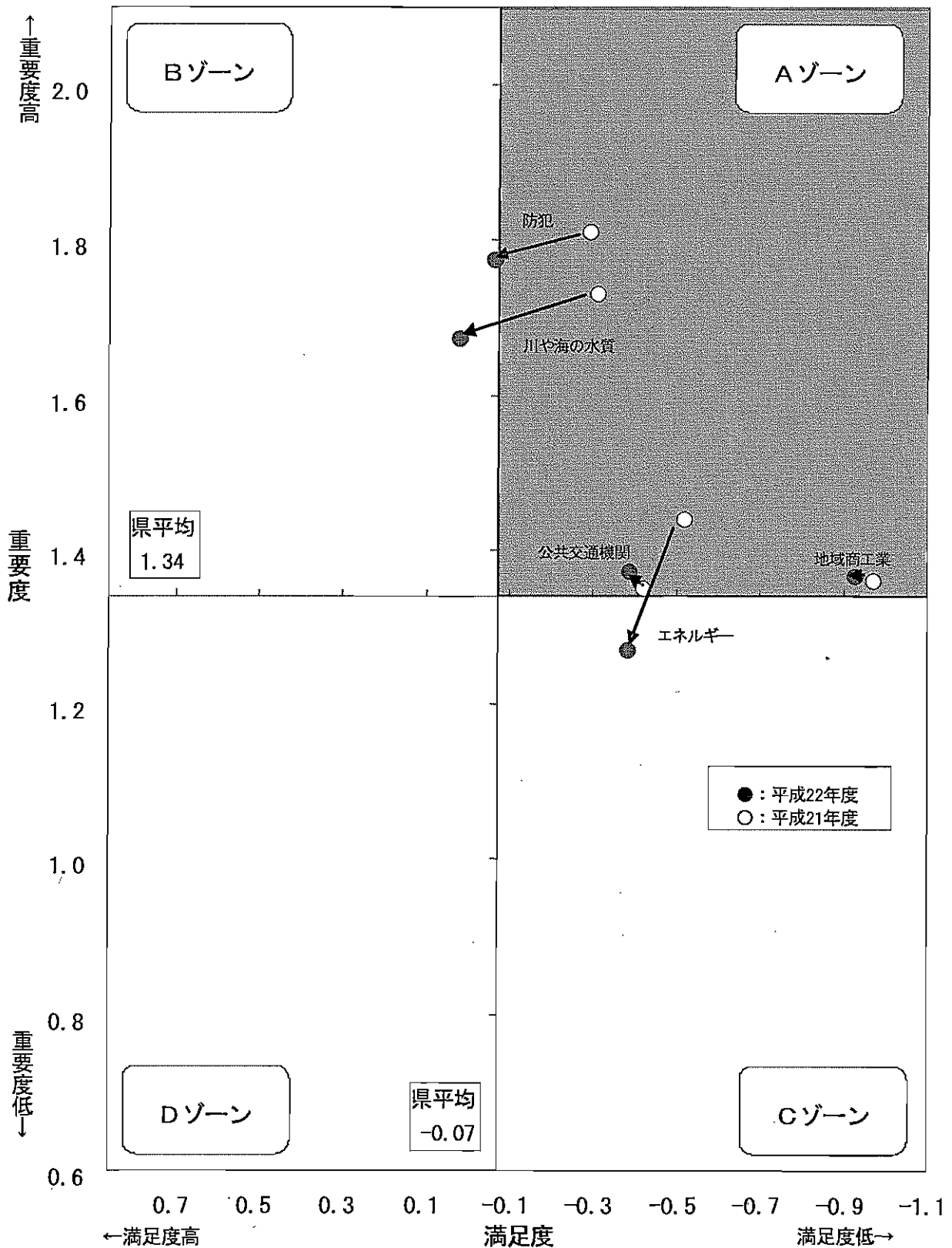
図表 重要度と満足度の関係（平成21年度）



各分野の重要度と満足度の変化

図表 Aゾーンへの出入り・プロット図

(ゾーンは平成22年度のゾーン)



3 鳥羽伊良湖航路について

1 鳥羽伊良湖航路について

鳥羽伊良湖航路は、昭和 39 年 4 月 4 日、伊勢湾フェリー（株）により開設されました。現在の航路は、鳥羽港～伊良湖港間 23.2km（所要時間約 55 分）で、通常期は 8 往復、繁忙期には 13 往復、運航されています。

平成 22 年 3 月 24 日、伊勢湾フェリー（株）は、平成 22 年 9 月 30 日を以て航路事業を廃止する旨の届を中部運輸局に提出しました。

【廃止に至った理由・経緯】（伊勢湾フェリー（株）の提供資料から抜粋）

- ・伊勢湾岸自動車道の開通区間が延伸されるにつれ、平成 15 年頃から利用者の減少傾向が顕著となった。
- ・その後の景気低迷による旅客の減少や燃油費の高騰などの影響を受け、航路の維持が困難な状況が続いていた。
- ・昨年 3 月から ETC 特別割引が実施され、利用客が激減し、大きなダメージを受けた。
- ・平成 18 年度以降債務の超過額の累積が続いており、このまま事業を継続すると今後もさらなる損失の拡大が予想される。

* 「鳥羽伊良湖航路等の現状について」（資料 1 参照）

2 主な経緯

- | | |
|------------------|---|
| 平成 21 年 4 月 1 日 | 伊勢湾フェリー（株）が、フェリー等旅客船に対する港湾施設使用料等の減免を三重県へ要望 |
| 平成 21 年 8 月 1 日 | 三重県が、鳥羽港の入港料を減額（年間 840 万円→90 万円） |
| 平成 22 年 3 月 24 日 | 伊勢湾フェリー（株）が、平成 22 年 9 月末をもって航路事業を廃止する旨を中部運輸局に届出 |
| 平成 22 年 3 月 25 日 | 鳥羽市が「国及び愛知県、三重県が協力して対策協議会を設置する」旨を三重県に緊急要望 |
| 平成 22 年 3 月 31 日 | 「伊勢志摩地域鳥羽伊良湖航路存続対策協議会」設立 |
| 平成 22 年 4 月 8 日 | 「東三河地域鳥羽伊良湖航路存続対策協議会」設立 |
| 平成 22 年 4 月 21 日 | 「鳥羽伊良湖航路対策協議会」設立・第 1 回開催 |
| 平成 22 年 4 月 27 日 | 第 2 回「鳥羽伊良湖航路対策協議会」開催 |
| 平成 22 年 6 月 4 日 | 第 3 回「鳥羽伊良湖航路対策協議会」開催 |

3 鳥羽伊良湖航路対策協議会の設立（資料2参照）

三重県は、愛知県、鳥羽市、田原市、国と連携し、鳥羽伊良湖航路の今後のあり方や存続に向けた対策について検討するため、「鳥羽伊良湖航路対策協議会」（座長：三重県政策部長）を平成22年4月21日に設立しました。現在、協議会において航路存続に向け取り組んでいるところです。

4 協議会の開催状況

協議会での検討概要は、以下のとおりです。

○平成22年4月21日 第1回協議会開催

[開催結果概要]

当面の活動方針を「現在の運航事業者の運航継続や、新たな運航事業者への円滑な事業継承に向けた条件等について協議し、これらを踏まえ協議会としての対応方策を検討する」こととした。

○平成22年4月27日 第2回協議会開催

[開催結果概要]

- ①伊勢湾フェリー（株）、親会社である近畿日本鉄道（株）及び名古屋鉄道（株）の出席のもと、今回の判断に至った経緯、現状、現時点での会社としての考え方（9月30日に航路を廃止し、会社を清算することは3社内での決定事項であり、現時点での変更はない）について説明を受けた。
- ②協議会として、航路存続のための条件整理を早急に進め、対応方策を検討していくこと、また、その際、適宜、3社との協議を行っていくこととした。

○平成22年6月4日 第3回協議会開催

[開催結果概要]

- ①鳥羽伊良湖航路の廃止による影響について報告。（資料3参照）
- ②「航路存続をどこにお願いしていくか」「その際どのような環境整備が必要か」等について意見交換した。
- ③三重県、愛知県、鳥羽市、田原市の2県2市が、今後、親会社である近畿日本鉄道（株）と名古屋鉄道（株）に対して、要望活動を実施することを確認。

5 今後の対応

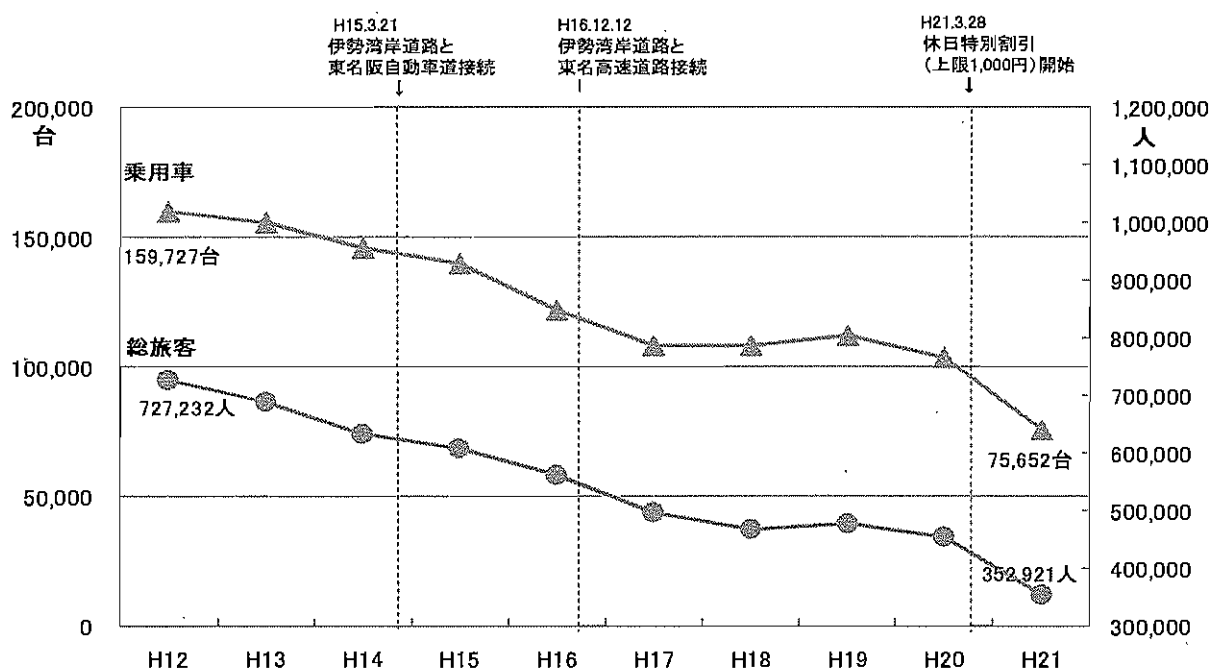
今後も、鳥羽伊良湖航路存続に向け、協議会を構成する国や2県2市が、現在の運航事業者や親会社である近畿日本鉄道（株）、名古屋鉄道（株）の協力を得ながら、それぞれの立場で力を合わせ、早急に航路存続に向けた対応方策を取りまとめていきます。

鳥羽伊良湖航路等の現状について（概要）

1 鳥羽伊良湖航路の現状

(1) 利用実績

航路の利用者数は、伊勢湾岸道路の延伸等の高速道路ネットワークが整備されるに従い、年々減少している。



平成 21 年度に利用した総旅客は約 35 万人であり、平成 6 年度のピーク時の約 116 万人から約 7 割の減少となっている。方向別にみると、鳥羽方面から伊良湖方面への航送が全ての項目で多くなっている。

	鳥羽⇒伊良湖	伊良湖⇒鳥羽	合計
乗用車	41,126 台	34,526 台	75,652 台 (▲61%)
バス	1,596 台	1,242 台	2,838 台 (▲84%)
トラック	3,112 台	1,662 台	4,774 台 (▲66%)
一般客	41,134 人	40,162 人	81,296 人 (▲53%)
総旅客	190,909 人	162,012 人	352,921 人 (▲70%)

※ () 内の数字はピーク時（平成 6 年度）との比較

(2) 地域別割合（平成 21 年度）

地域別にみると、愛知県、関東、静岡県の利用が多く、乗用車で約 3/4、バスで約 2/3 を占めている。

	1位	2位	3位	4位	5位
乗用車	愛知県 (27.0%)	静岡県 (26.7%)	関東 (20.5%)	三重県 (12.9%)	関西 (7.8%)
バス	関東 (41.3%)	静岡県 (12.9%)	愛知県 (10.7%)	インバウンド等 (10.2%)	関西 (8.5%)

※ 乗用車はナンバー、バスは利用団体の所在地等で集計。

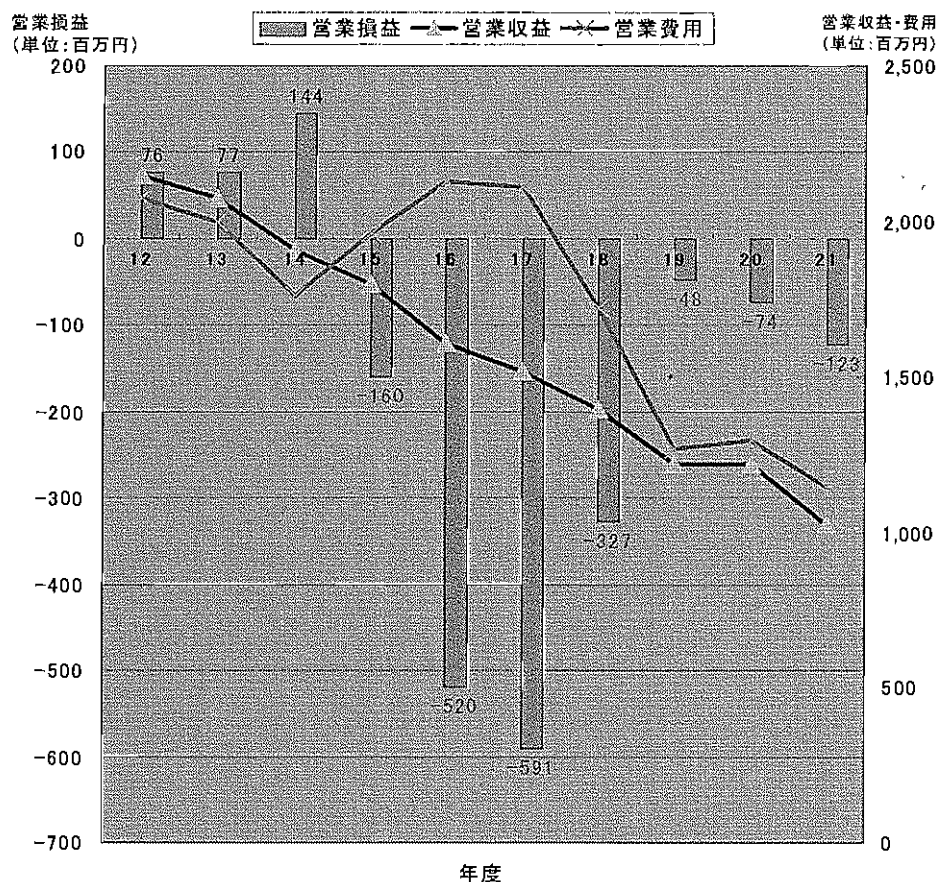
【高速道路の休日特別割引（上限 1,000 円）の影響】

平成 21 年度においては、乗用車全体の対前年度比が△26.9%と、平成 20 年度の対前年度比△7.6%に比べて大きく減少しているが、平成 21 年度の減少度合をみると、ETC の休日特別割引（上限 1,000 円）の適用があった日が△29.2%、その他の日が△25.6%と、その差は小さくなく、このデータからは休日特別割引の影響が大きいとは言えない状況である。

	H20		H21		H21－H20	H21／H20
	日数	1日あたり台数	日数	1日あたり台数		
休日特別割引適用日等	122	459 台	126	325 台	▲134 台	▲29.2%
その他の日	243	195 台	239	145 台	▲50 台	▲25.6%
合計	365	283 台	365	207 台	▲76 台	▲26.9%

2 伊勢湾フェリー(株)の経営実績

伊勢湾フェリー(株)の営業収支は、平成 15 年度に赤字に転じ、これまで7期連続の赤字となっている。また、平成 18 年度以降債務超過に陥っており、負債総額は平成 22 年 3 月末で約 21 億 5 千万円となっている。



○過去5年間の経営状況

(単位:百万円)

年度		H17	H18	H19	H20	H21
損益計算書	営業収益	1,521	1,396	1,222	1,221	1,024
	営業費用	2,112	1,724	1,269	1,295	1,147
	営業損益	△ 591	△ 327	△ 48	△ 74	△ 123
	経常損益	△ 618	△ 360	△ 98	△ 113	△ 138
	当期純損失	△ 910	△ 1,102	△ 117	△ 152	△ 139
貸借対照表	流動資産	130	463	304	148	163
	固定資産	3,289	1,813	1,560	1,339	1,162
	資産合計	3,419	2,277	1,865	1,487	1,325
	流動負債	660	942	829	758	900
	固定負債	2,069	1,749	1,568	1,410	1,251
	負債合計	2,729	2,691	2,397	2,168	2,151
	純資産	691	△ 415	△ 532	△ 681	△ 826

【伊勢湾フェリー(株)の資金問題の要点】

今回、航路の廃止、会社の清算に至った大きな要因としては、平成 17 年 2 月の鳥羽師崎航路の廃止、鳥羽常滑航路の開設に伴い、平成 16 年と 17 年に船 2 隻を建造した際の借入金及び平成 5 年に鳥羽港にターミナルビルを建設した際の借入金の返済が困難になったことが挙げられる。

鳥羽伊良湖航路対策協議会規約

(名称)

第1条 この会は、鳥羽伊良湖航路対策協議会（以下「対策協議会」という。）と称する。

(目的)

第2条 三重県伊勢・鳥羽・志摩地域と愛知県東三河地域を結び、両地域の活性化や交流に非常に重要な役割を担っている「鳥羽伊良湖航路」の今後のあり方や、存続に向けた対策について検討する。

(所掌)

第3条 対策協議会は次の事項を所掌する。

- (1) 委員間の情報交換
- (2) 航路の現状調査及び分析
- (3) 航路存続に向けた調査及び方策の検討

(組織)

第4条 対策協議会は別紙に掲げる委員で構成する。

(座長等)

第5条 対策協議会に次の役員を置く。

- (1) 座長 1人
- (2) 副座長 1人
- 2 座長は対策協議会を代表し、会務を総括する。
- 3 副座長は座長を補佐する。
- 4 座長は、三重県政策部長が務める。
- 5 副座長は、愛知県地域振興部長が務める。

(会議)

第6条 対策協議会の会議は座長が招集し、座長が会議の議長となる。

- 2 座長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して会議への出席を求めることができる。
- 3 委員は、所属を同じにする者を会議に代理出席させることができる。

(事務局)

第7条 対策協議会の事務を処理するため、事務局を設置する。

2 事務局は、三重県政策部内及び愛知県地域振興部内に置く。

(その他)

第8条 この規約に定めるもののほか、対策協議会の運営に関し必要な事項は座長が別に定める。

附則

1 この規約は平成22年4月21日から施行する。

○別紙(第4条関係)

所属	役職	名前	備考
中部運輸局企画観光部	部長	森 勝彦	
中部運輸局海事振興部	部長	水谷一之	
中部地方整備局企画部	部長	野田 徹	
愛知県地域振興部	部長	山田周司	副座長
愛知県産業労働部	部長	木村 聡	
愛知県建設部	部長	川西 寛	
三重県政策部	部長	小林清人	座長
三重県農水商工部観光局	局長	長野 守	
三重県県土整備部長	部長	北川貴志	
田原市	市長	鈴木克幸	
鳥羽市	市長	木田久主一	

* 順不同

鳥羽伊良湖航路の廃止による影響について（概要）

1 観光

○ 鳥羽・伊良湖間の航路を利用した周遊観光の喪失による観光客や宿泊者の減少

- ・鳥羽伊良湖航路の総旅客35万人（H21）のほとんどが観光目的。
- ・伊勢志摩の「海の玄関口」、渥美半島の「西の玄関」の喪失。
- ・伊勢湾の景観を楽しむ観光資源の喪失。
- ・外国人観光客誘致戦略としても、同航路を活用した観光商品の造成ができなくなり、観光地としての魅力の減少。

2 物流

○ 水産・海産物や工業用資材、農畜産物の輸送手段の喪失

- ・平成21年度のトラックの航送台数は、4,774台

○ 水産・海産物

三重県の業者が、東京の築地市場への出荷に利用（鳥羽 ⇒ 伊良湖）

○ 工業用資材

愛知県の業者が、伊勢地方の工場への資材輸送時の帰路に利用（鳥羽 ⇒ 伊良湖）

○ 農畜産物

愛知県や静岡県畜産業者が伊勢地方から孵化用卵の仕入時に利用（鳥羽 ⇒ 伊良湖）

田原市内のスイカ農家が伊勢地方への出荷に利用（伊良湖 ⇔ 鳥羽）

- ・また、陸路へ転換すれば、運転手の労働環境の悪化も懸念される。

3 雇用

○ 伊勢湾フェリー(株)からの離職者の発生、及び宿泊施設や観光施設等の関連産業における雇用環境の悪化

4 地球温暖化の防止

○ 地球温暖化の防止に有効なモーダルシフトの手段の喪失

5 代替輸送手段

○ 災害時等の避難住民の輸送や緊急物資の運送手段の喪失

6 地域づくり・地域間交流・連携

○ 鳥羽市や田原市の地域づくりへの影響

○ 地域間交流の衰退

- ・田原市と伊勢・鳥羽・志摩地域で、毎年、年2回、実施されている少年野球
- ・三河地方の絹糸を伊勢神宮に奉獻する「お糸船（おいとせん）」

○ 環伊勢湾地域の連携基盤の喪失

4 JR名松線について

1 経緯とこれまでの取組

- ① JR名松線は、平成21年10月8日の台風18号により被災し、松阪・家城間は運転が再開されたものの、家城・伊勢奥津間は代行バスによる輸送が続いています。
- ② JR東海は、10月28日、津市、松阪市、三重県、中部運輸局に対し、山林を含めた周辺部からの鉄道設備への影響が大きくなっており、今後、家城・伊勢奥津間はバスでの輸送とする、との提案をしました。
- ③ 津市は、JR東海の提案を受けて、三重大学大学院生物資源学研究科酒井俊典教授に「名松線の被害にかかる被害状況調査」を依頼しました。12月25日の調査結果報告では、復旧・運行再開は不可能ではないとの見解が示されました。
- ④ 県は、平成21年11月から22年1月にかけて、防災ヘリを使った周辺山林部や被災箇所の上空調査や、JR東海が指摘する「沢不安定箇所」の現地調査などを実施しました。(資料1参照)
大規模な山腹崩壊等は確認されず、名松線を災害前の状態(安全確保のため時間雨量20mmで運転を抑止)に復旧するには、治山ダムや法面崩壊防止など県として特段の対策は必要ないという調査結果となり、平成22年2月17日に、JR東海に対して、
 - ア 家城・伊勢奥津間を災害前の状態に復旧
 - イ 津市が提案する協議への参加
 - ウ 地域住民の方々との十分な話し合いの3点を申し入れました。

2 現状と今後の対応

- ① 平成22年3月18日に、中部運輸局の調整によって、JR東海、津市、県の4者で意見交換の場が設けられました。
- ② その後、4月20日に、JR東海からは、鉄道運行の安全安定を確保するためには、多くの沢不安定箇所等の改善に向けて、谷止工や排水路等の対策工事が必要であるとの考え方が示されました。(資料2参照)
- ③ 現在、JR東海の間接方について、有識者を交え津市とともに精査しており、現地調査を実施しています。現地調査や有識者の意見等を踏まえて、中部運輸局、津市とともに、JR東海と、今後の名松線の輸送体制について話し合いを進めていきます。
 - ・6月18日から 現地調査
 - ・現地調査以後 調査結果のとりまとめ、有識者・津市と意見交換
 - ・とりまとめ後 中部運輸局、JR東海、津市、県の4者で話し合い

台風 18 号による J R 名松線の
被災状況調査結果について
(抜粋)

平成 22 年 2 月

三 重 県

1 はじめに

JR名松線は、台風18号による被害で、平成21年10月8日(木)から運転を中止しており、^{まつさか いえき}松阪・家城間については、10月15日(木)から運行を再開しているが、^{いえき いせおきつ}家城・伊勢奥津間については、現在も代行バスによる運行(上下5.5往復、通常時は8往復)が続いている。

JR東海から、10月28日(水)に、「松阪・家城間は鉄道で、家城・伊勢奥津間はバスでの輸送とすること。」とする提案があった。

県では、被害状況を確認するため、防災ヘリによる上空調査や、JR東海が公表した資料をもとにJR東海職員の立会のもと、線路への「土砂流入箇所」(16箇所)及び線路に隣接する「沢不安定箇所」(34箇所)について、現地調査を行った。

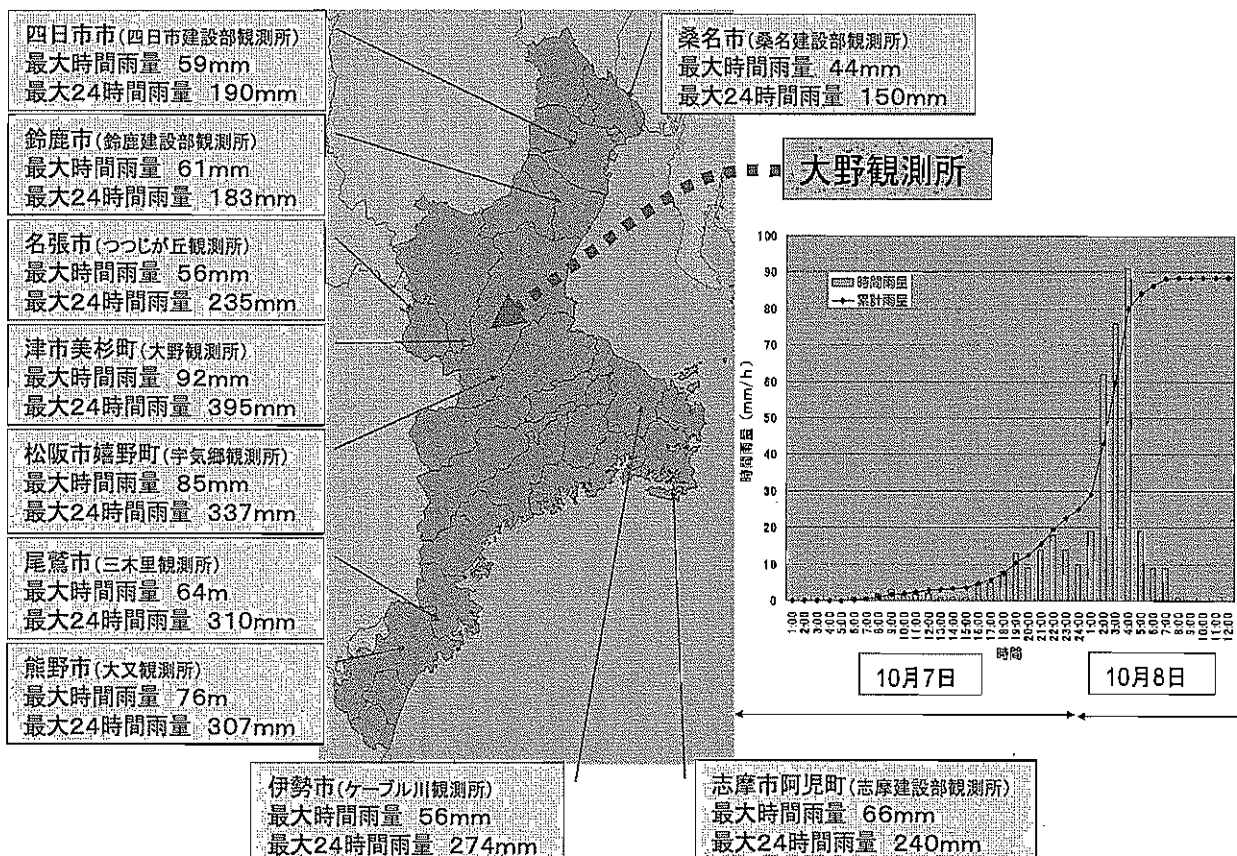
- ・H21.11.5 上空調査 (県)
- ・H21.11.16 線路への土砂流入箇所の調査 (JR東海、県)
- ・H21.12.15 及び H22.1.8 線路に隣接する沢不安定箇所の調査 (JR東海、津市、県)

2 台風時の気象状況

平成21年10月7日から8日の台風18号の接近に伴い、県中央部を中心に非常に激しい雨となった。

中でも津市美杉町では、総雨量が400mmを超える記録的な雨量を観測し、山腹の崩壊や道路、河川の決壊などの被害が多く発生した。

10月7日から8日にかけての各地の降雨状況



(抜粋-1)

降雨量

	台風 18 号(美杉町大野観測所) H21.10.06.~08	昭和 57 年 10 号台風(君が野ダム観測) S57.7.31~08.03
総雨量	415mm	555mm
24 時間最大雨量	395mm	499mm
時間最大雨量	92mm	68mm

森林関係の被害状況（全県）

市 町	山腹崩壊・溪流荒廃		林道施設災害		森林災害合計
	被害 箇所 数	被害額(千円)	被害箇 所数	被害額(千円)	被害額(千円)
津市	44	832,500	303	157,135	989,635
うち美杉町	36	665,000	180	106,855	771,855
三重県計	87	1,932,770	419	347,400	2,280,230

県土整備部関係の被害状況（全県）

（単位：千円）

被 害 箇 所 内 訳	工 種	河 川		道 路		橋 梁		
		箇所数	被害額	箇所数	被害額	箇所数	被害額	
	県全体	県工事	131	1,501,030	69	660,800		
		市町工事	138	1,126,700	131	699,200		
		計	269	2,627,730	200	1,360,000	0	0
	津市	県工事	29	198,230	31	339,000		
		市町工事	61	438,500	66	276,500		
		計	90	636,730	97	615,500	0	0
	美杉町	県工事	15	133,230	16	132,000		
		市町工事	52	407,500	45	226,500		
		計	67	540,730	61	358,500	0	0

被 害 箇 所 内 訳	工 種		砂防施設		海岸・港湾		合 計	
			箇所数	被害額	箇所数	被害額	箇所数	被害額
	県全体	県工事	20	293,500	2	210,000	222	2,665,330
		市町工事					269	1,825,900
		計	20	293,500	2	210,000	491	4,491,230
	津市	県工事	9	150,500			69	687,730
		市町工事					127	715,000
		計	9	150,500	0	0	196	1,402,730
	美 杉 町	県工事	8	145,500			39	410,730
		市町工事					97	634,000
		計	8	145,500	0	0	136	1,044,730

3 被災状況調査

(1) 上空調査

平成 21 年 11 月 5 日に三重県の防災ヘリにより上空から家城、君が野ダム、下之川、下多気、丹生俣、上多気、奥津、三多気、奈良県境に沿って、三峰山、川上を經由して奥津から名松線沿いに家城までの鉄道沿線や周辺山林部の被害状況の確認を行った。

上空からの確認であるため、詳細な状況を把握することはできなかったが、鉄道沿線や周辺山林部において、台風 18 号による大規模な山腹の崩壊などは確認できなかった。

(2) 現地調査

JR 東海が公表した、線路への「土砂流入箇所」16 箇所と鉄道沿線の「沢不安定箇所」34 箇所について現地調査を実施した。

① 平成 21 年 11 月 16 日の調査

線路への「土砂流入箇所」16 箇所については、線路上、あるいは排水路や横断暗渠などに土砂が流入し、埋塞している状況を確認した。

② 平成 21 年 12 月 15 日及び平成 22 年 1 月 8 日の調査

「沢不安定箇所」34 箇所については、各沢において大規模な山腹崩壊は確認できず、今回発生したと思われるものも含め、溪岸侵食が発生している状況を確認した。

34 箇所の沢には、県の治山施設（治山ダム）が 3 箇所（3 基）あるが、施設等に破損等はなく、一定の効果を発揮していることを確認した。

平成 21 年 11 月 16 日の調査と同様、線路付近では、横断暗渠や排水路、集水桝等の施設に土砂等が埋塞し、線路敷地に土砂などがあふれている状況を確認した。

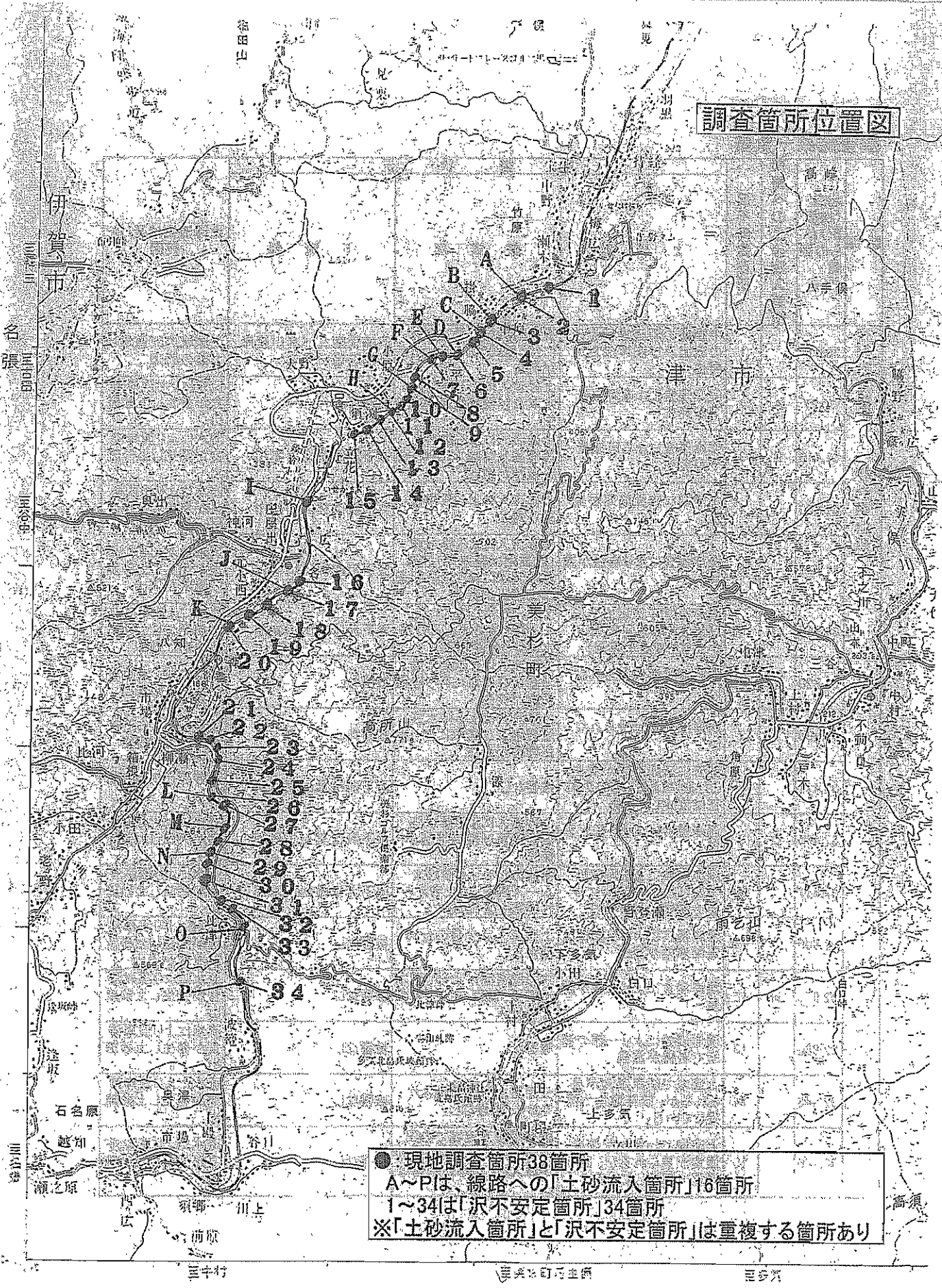
また、横断暗渠等の施設がない箇所も確認した。

4 まとめ

今回の被害については、台風 18 号の豪雨による流水により周辺の斜面、溪流等の河床の土砂が下流域へ流下したものと考えられる。

また、これまで整備を進めてきた治山ダム等が一定の効果を発揮しており、災害前の状態（安全確保のため時間雨量 20mm で運転を抑止）に復旧する場合には、治山ダムや法面崩壊防止など、特段の対策は必要ないと考えられる。

調査箇所位置図



● 現地調査箇所38箇所
 A~Pは、線路への「土砂流入箇所」16箇所
 1~34は「沢不安定箇所」34箇所
 ※「土砂流入箇所」と「沢不安定箇所」は重複する箇所あり

調査結果一覧表

駅間	起点 (松阪 駅)か らの 距離 (km)	線 路 へ の 土 砂 流 入 箇 所	沢 不 安 定 箇 所	被 害 状 況			土砂流出に至った 要因
				上 流 部	鉄 道 部	下 流 部	
伊勢竹原駅 伊勢鎌倉駅	30.375		1	中腹部の河道堆積土砂の流出及び溪岸浸食が発生	横断暗渠埋塞及び越水に伴う線路部路床土流出が発生	河道埋塞及び本川護岸一部決壊が発生	上流域の河道堆積土砂の流出
	30.77	A	2	溪岸浸食による河床低下が発生	土砂流入による横断排水溝及び線路埋塞が発生	被害なし	流水により溪岸浸食が発生し土砂流出
	31.410	B	3	溪岸浸食による河床低下が発生	土砂流入による排水施設埋塞及び越水に伴う線路埋塞が発生	直下流は雲出川本川	流水により溪岸浸食が発生し土砂流出
	31.500	C	4	小規模な法面崩落が発生	土砂流入による線路埋塞が発生	直下流は雲出川本川	流水により法面崩落が発生し土砂流出
	31.570		5	溪岸浸食により岩盤が露呈	土砂流入による排水溝(農業用水路兼用)埋塞及び流水に伴う線路部路床土流出が発生	直下流は雲出川本川	流水により溪岸浸食が発生し土砂及び流木が流出
	31.655	D	6	既存堰堤下流域での溪岸浸食による河床低下が発生(岩盤が露呈)	土砂、流木の流入により、横断暗渠埋塞及び越水に伴う線路埋塞	直下流は雲出川本川	流水により溪岸浸食が発生し土砂及び流木が流出
	31.820	E		溪岸浸食等は見られない	土砂流入による排水溝埋塞及び流水に伴う線路埋塞が発生	被害なし	周辺の畑、法面等からの土砂流出
	31.980	F	7	溪岸浸食等は見られない	土砂流入による排水施設埋塞及び越水に伴う線路埋塞が発生	被害なし	周辺の畑、法面等からの土砂流出
	32.411		8	過去に法面崩壊が発生した形跡はあるものの現在は安定している	被害なし	直下流は雲出川本川	土砂流出の形跡なし
	32.460	G	9	溪岸浸食により岩盤が露呈	土砂流入による排水施設埋塞及び線路埋塞が発生	直下流は雲出川本川	流水により溪岸浸食が発生し土砂流出
	32.511		10	溪岸浸食による河床低下及び緩勾配箇所少量の堆積土砂が発生	橋梁のため、土砂はスムーズ流下したと考えられ埋塞もなく被害なし	直下流は雲出川本川	流水により溪岸浸食が発生し土砂流出
	32.600		11	溪岸浸食により小規模な法面崩落が発生	土砂流入は少量のため被害なし	被害なし	流水により溪岸浸食が発生し土砂及び流木が流出
	32.670	H	12	溪岸浸食により岩盤が露呈	防護壁背面に土砂、倒木が堆積、線路内に少量の土砂流入	被害なし	流水により溪岸浸食が発生し土砂流出
	32.880		13	溪岸浸食により一部の箇所岩盤が露呈	被害なし	被害なし	流水により溪岸浸食が発生し土砂流出
	32.943		14	上流域で溪岸浸食が見られるが、既存堰堤で捕捉している	三面張水路が整備されており、被害なし	被害なし	流水により溪岸浸食が発生し土砂流出
33.100		15	上流域でわずかな溪岸浸食が見られるが、既存堰堤で捕捉している	既存堰堤下流域での溪岸浸食により少量の土砂が流入しているが被害なし	被害なし	流水により溪岸浸食が発生し土砂流出	

伊勢鎌倉駅 伊勢八知駅	34.500	I		踏切	土砂流入による排水溝埋塞及び流水に伴う線路埋塞が発生	被害なし	周辺の畑、法面等からの土砂流出
	34.841		16	溪岸浸食により新たなガリが発生し、一部の箇所 で土砂堆積が見られるが安定している	土砂流入がなかったため、被害なし	被害なし	流水により溪岸浸食が発生し土砂流出
	34.918	J	17	溪岸浸食による河床低下及び緩勾配箇所に少量の堆積土砂が発生	土砂流入による排水溝埋塞及び流水に伴う線路埋塞、線路部路床土の流出が発生	被害なし	流水により溪岸浸食が発生し土砂流出
	35.263		18	溪岸浸食による河床低下及び緩勾配箇所に堆積土砂が発生	流水により、一部路体土が流出	河道埋塞が発生	流水により溪岸浸食が発生し土砂流出
	35.390		19	溪岸浸食による河床低下及び緩勾配箇所に堆積土砂が発生	流水により、路体土が流出	被害なし	流水により溪岸浸食が発生し土砂流出
	35.570	K	20	溪岸浸食による河床低下(岩盤露呈)及び緩勾配箇所に堆積土砂が発生	土砂流入による排水溝埋塞及び流水に伴う線路埋塞、線路部路床土の流出が発生	被害なし	流水により溪岸浸食が発生し土砂流出
伊勢八知駅 比津駅	37.360		21	溪岸浸食が発生	土砂流入による排水溝埋塞及び流水に伴う線路埋塞が発生	直下流は雲出川本川	流水により溪岸浸食が発生し土砂流出
	37.380		22	溪岸浸食が発生	土砂流入による排水溝埋塞及び流水に伴う線路埋塞が発生	直下流は雲出川本川	流水により溪岸浸食が発生し土砂流出
	37.525		23	溪岸浸食が発生	土砂流入による排水溝埋塞及び流水に伴う線路埋塞が発生	直下流は雲出川本川	流水により溪岸浸食が発生し土砂流出
	37.590		24	わずかな溪岸浸食が発生	被害なし	被害なし	流水によりわずかな溪岸浸食が発生し土砂流出
	37.800		25	わずかな溪岸浸食が発生	被害なし	被害なし	流水によりわずかな溪岸浸食が発生し土砂流出
	38.200	L	26	溪岸浸食が発生	土砂流入による排水溝埋塞及び流水に伴う線路埋塞が発生	直下流は雲出川本川	流水により溪岸浸食が発生し土砂流出
	38.150		27	溪岸浸食等は見られない	被害なし	被害なし	被害形跡なし
	38.450	M		上部山林及び法面浸食	上部山林及び法面浸食により、排水溝埋塞	被害なし	上部山林及び法面浸食により、土砂流入
	38.522		28	わずかな溪岸浸食の形跡が見られるが、河床は安定している	被害なし	被害なし	被害形跡なし
	38.600	N	29	溪岸浸食により岩盤が露呈	土砂流入による横断排水溝埋塞及び流水に伴う線路埋塞が発生	直下流は雲出川本川	流水により溪岸浸食が発生し土砂及び流木が流出
	38.691		30	溪岸浸食が発生	谷止工は満砂状態であるが、河床は安定している	直下流は雲出川本川	被害形跡なし
	39.140		31	溪岸浸食が発生	排水樹が埋塞	被害なし	流水により溪岸浸食が発生し土砂及び流木が流出
	39.320		32	わずかな溪岸浸食の形跡が見られるが、河床は安定している	排水樹に少量の土砂が埋塞	被害なし	被害形跡なし
	39.420		33	わずかな溪岸浸食の形跡が見られるが、岩盤が露呈している	横断暗渠に少量の土砂が埋塞	被害なし	被害形跡なし
39.663	O		踏切	土砂流入による排水溝埋塞及び線路埋塞が発生	被害なし	周辺の畑、法面等からの土砂流出	
40.240	P	34	溪岸浸食が発生	土砂流入による排水溝埋塞及び線路埋塞が発生	被害なし	流水により溪岸浸食が発生し土砂流出	

JR東海提示対策工事案(平成22年4月20日)

資料2

溪流部	その他	キロ程(K M)		備考	対策工事
1		30	260	新規	水路整備
2		30	375		流路工 水路新設 山腹土留工 谷止工
3		30	508	新規	水路整備
	①	30	610	新規	水路整備
4		30	766		水路整備 水路新設 谷止工
5		31	410		流路工 水路拡幅 谷止工
6		31	570		水路新設 山腹土留工 土砂浚渫
7		31	655		谷止工 土砂浚渫
8		31	820		土砂浚渫
9		31	980		水路整備
10		32	411		山腹土留工
11		32	460		水路新設 谷止工
12		32	511		山腹土留工
13		32	600		水路拡幅
14		32	670		山腹土留工
	②	38	787	新規	流路工 水路拡幅 谷止工
15		32	880		水路整備 山腹土留工
16		32	943		流路工 水路拡幅
17		33	100		水路新設
	③	34	300	新規	水路整備
	④	34	650	新規	水路整備 水路新設
18		34	841		山腹土留工
19		34	918		水路整備 水路新設
20		35	263		流路工 水路拡幅 谷止工
21		35	390		流路工 水路整備 水路新設 谷止工
22		35	570		流路工 水路整備 水路新設 谷止工
	⑤	36	980	新規	水路整備
23		37	525		山腹土留工
24		37	590		山腹土留工 土砂浚渫
25		38	691		谷止工 土砂浚渫
26		38	740	新規	山腹土留工 谷止工
27		38	860	新規	流路工 谷止工
28		38	970	新規	谷止工
29		39	14		流路工 水路新設 谷止工
30		39	320		山腹土留工
31		39	420		谷止工
32		39	635	新規	水路整備
33		39	798	新規	水路整備
34		39	830	新規	谷止工
35		40	240		谷止工
35箇所	5箇所				

新規に提案された箇所

工事必要箇所位置図

